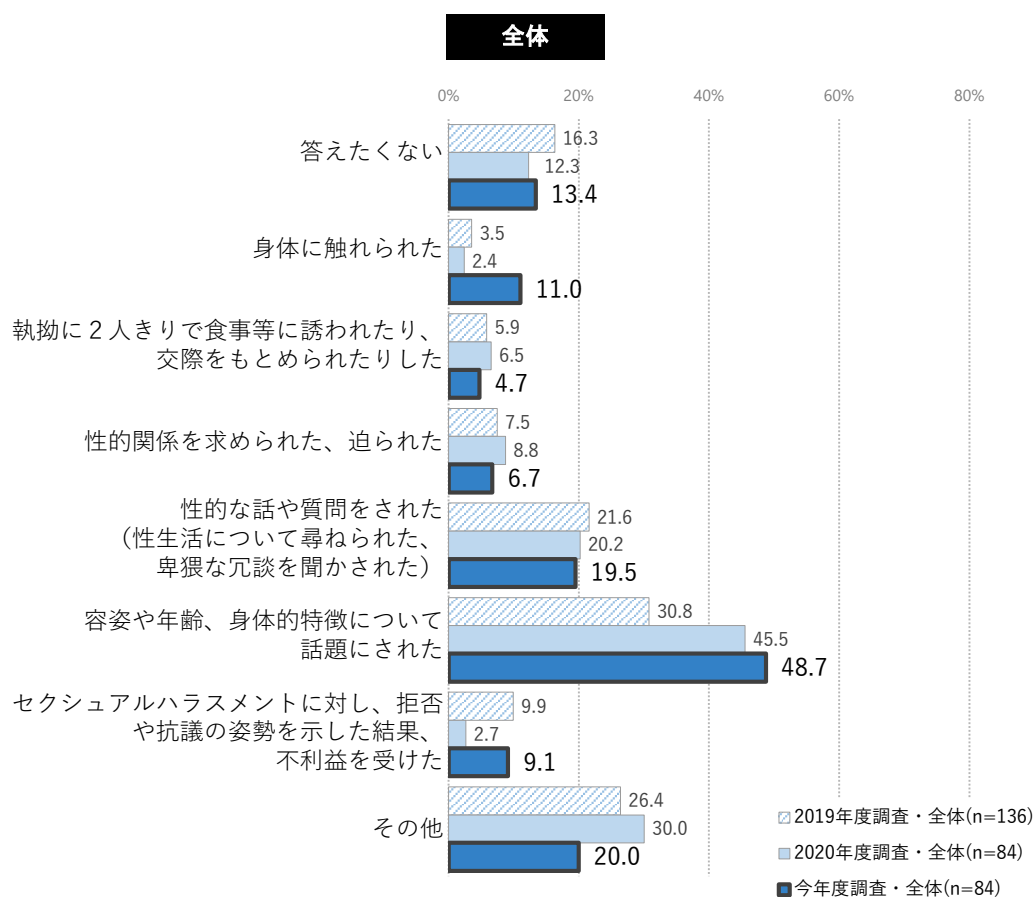


### ③ 「セクシュアルハラスメント」 行為の内容

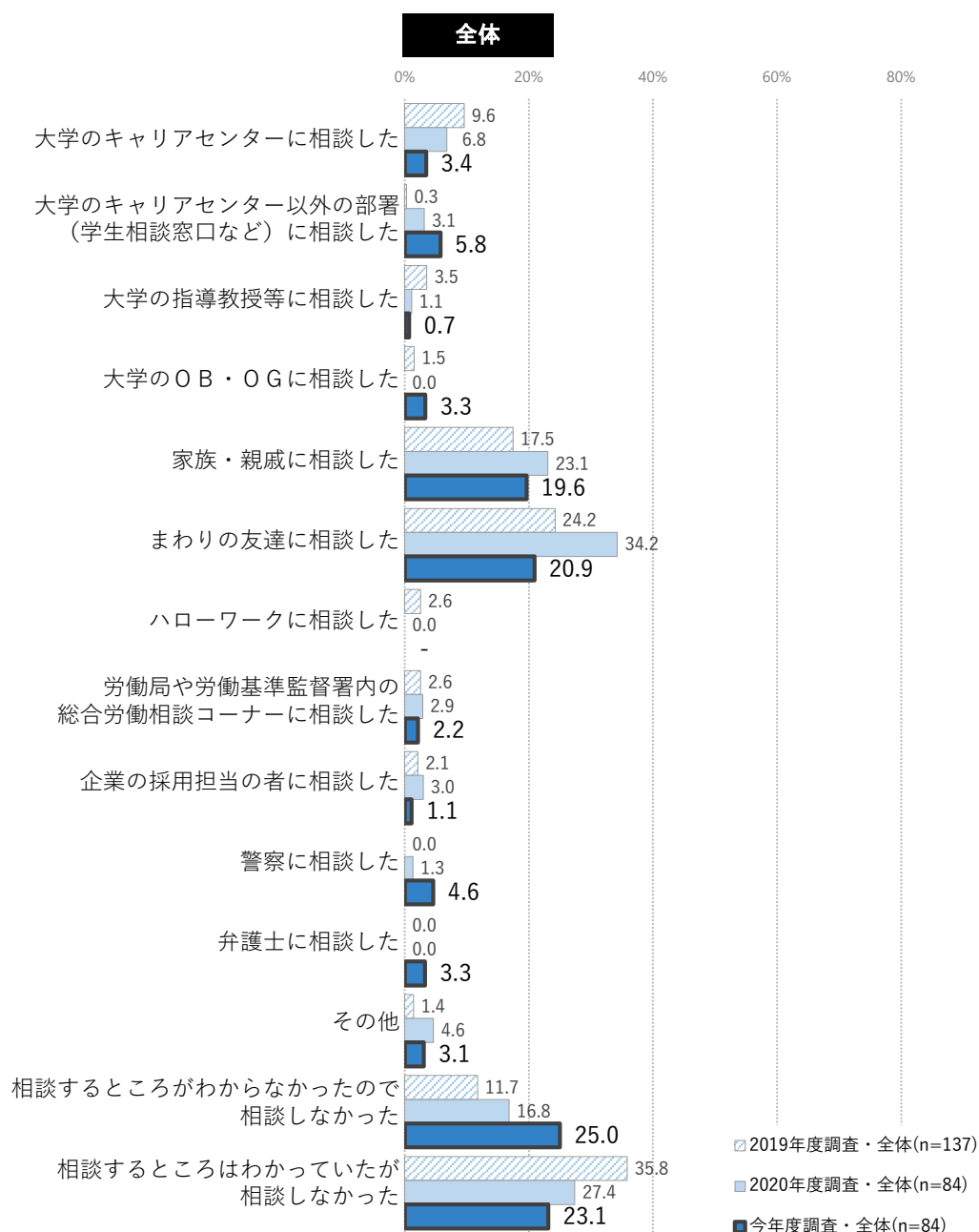
どのようなセクシュアルハラスメント行為を受けたかについて、「容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた」が約5割、「性的な話や質問をされた(性生活について尋ねられた、卑猥な冗談を聞かされた)」が約2割となっている。



#### ④「セクシュアルハラスメント」行為に関する相談

セクシュアルハラスメント行為に関し相談したことがあるかについて、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」が約2割、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」は約3割となっている。相談先としては、「まわりの友達に相談した」、「家族・親戚に相談した」が約2割となっている。

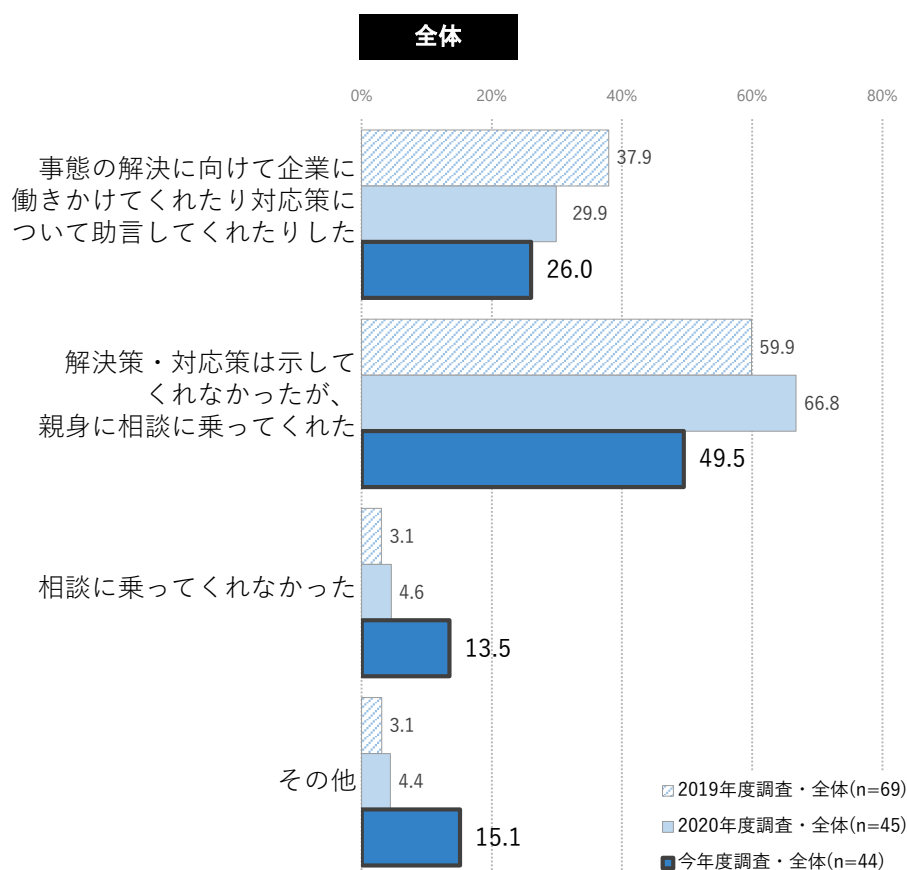
2020年度調査と比較すると、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」の回答割合が高くなっており、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」は低くなっている。相談先としては「まわりの友達に相談した」の項目で回答割合が低くなっている。



## ⑤ 「セクシュアルハラスメント」行為に関する相談への対応

セクシュアルハラスメント行為を相談したときの対応について、「解決策・対応策は示してくれなかったが、親身に相談に乗ってくれた」が約5割、「事態の解決に向けて企業に働きかけてくれたり対応策について助言してくれたりした」が約3割となっている。

2020年度調査と比較すると、「解決策・対応策は示してくれなかったが、親身に相談に乗ってくれた」の回答割合は低くなり、「相談に乗ってくれなかった」の回答割合は高くなっている。



## 第七章 文系・理系別の分析

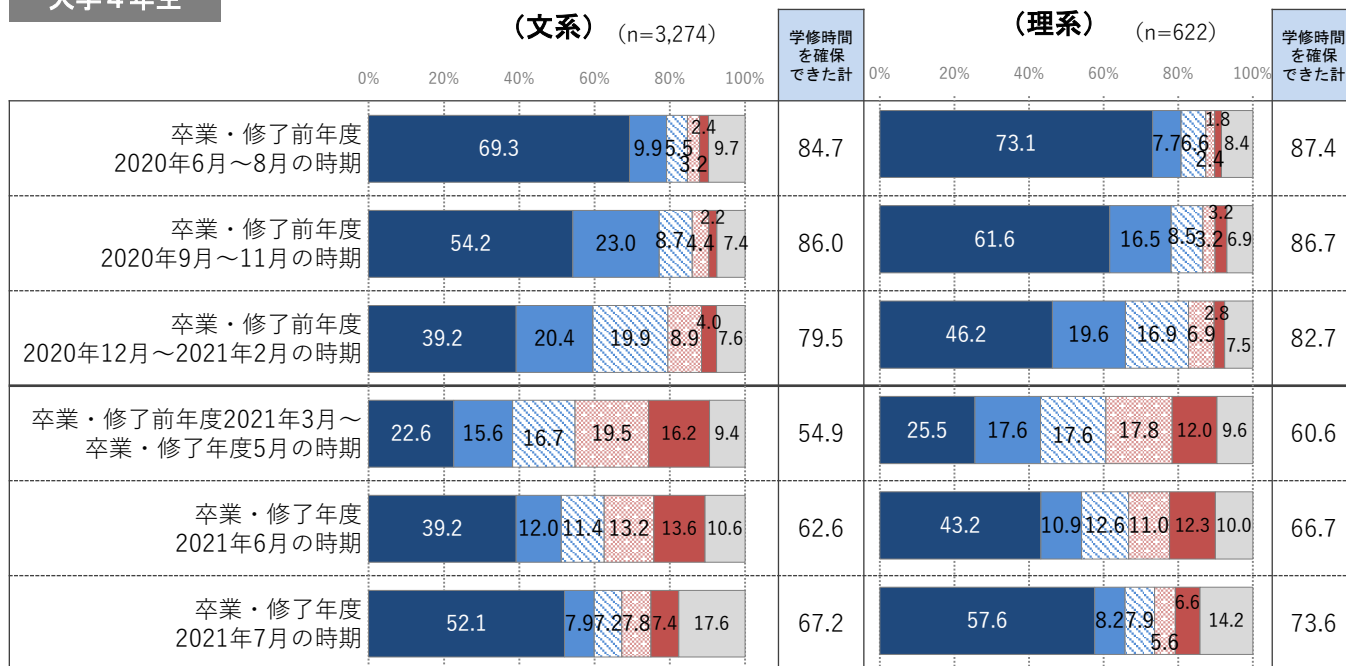
# 第七章 文系・理系別の分析

## (1) 文系・理系別の就職活動の内容

### ①文系・理系別の就職活動と学修時間確保の状況

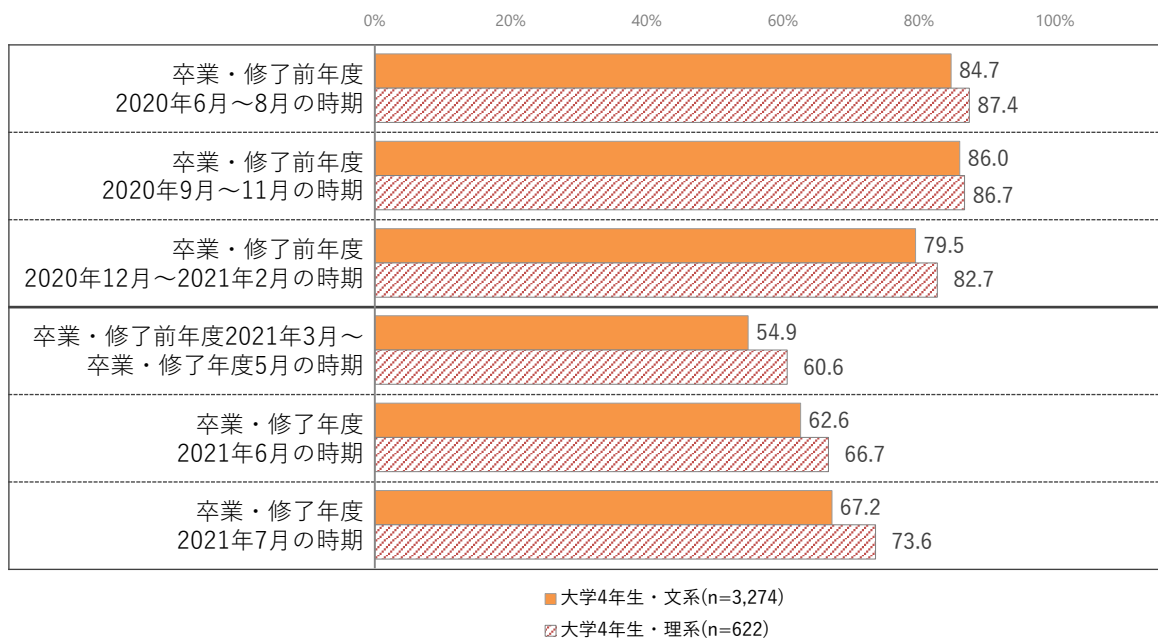
就職活動と学修時間確保の状況について、大学4年生・大学院2年生のそれぞれについて文系・理系別に集計すると、「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」、「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は、大学4年生・大学院2年生ともに概ね「理系」の方が学修時間が確保できた割合は大きい。ただし、大学院2年生でよりその差は大きい傾向にある。

#### 大学4年生



- 就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた
- 就職活動に少し時間を割くことがあったが、必要な学修時間は確保できた
- 就職活動に時間を割くことがあったが、一定の学修時間は確保できた
- 就職活動に時間を取られ、あまり学修時間が確保できなかった
- 就職活動によりほとんど学修時間の確保ができなかった
- 就職活動に時間を取られたが、学修時間への影響はなかった

#### (文系・理系別比較)



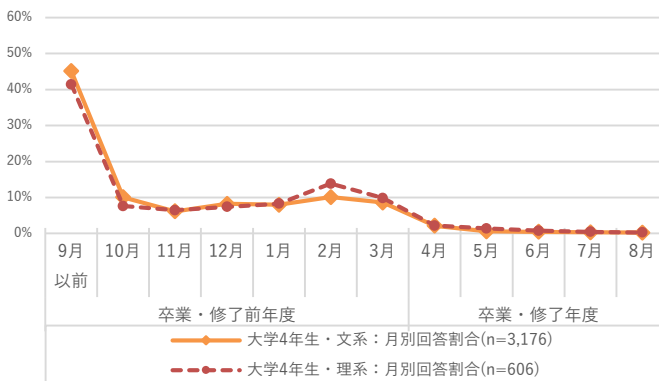


## ②文系・理系別の業界や企業に関する分析を開始した時期

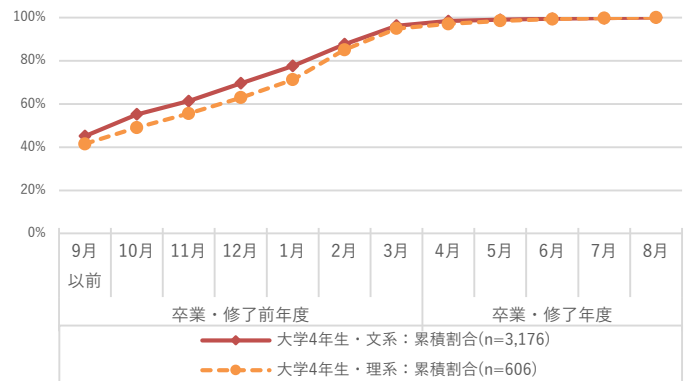
文系・理系別に、業界や企業に関する分析を開始した時期を集計すると、大学4年生は文系・理系で概ね同様の結果となっている。大学院2年生では、理系の学生の方が業界や企業の分析を開始する時期は早くなっている。

### 大学4年生

#### 月別回答割合

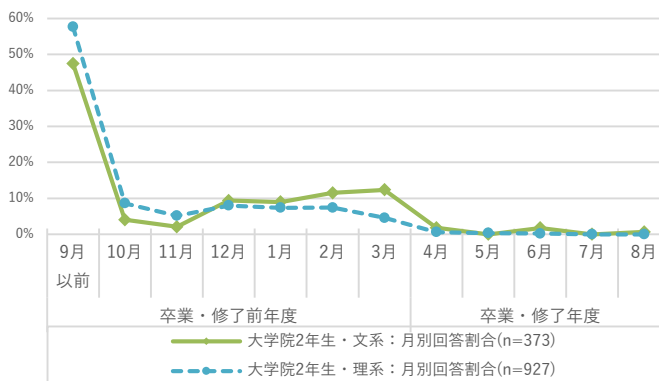


#### 累計割合

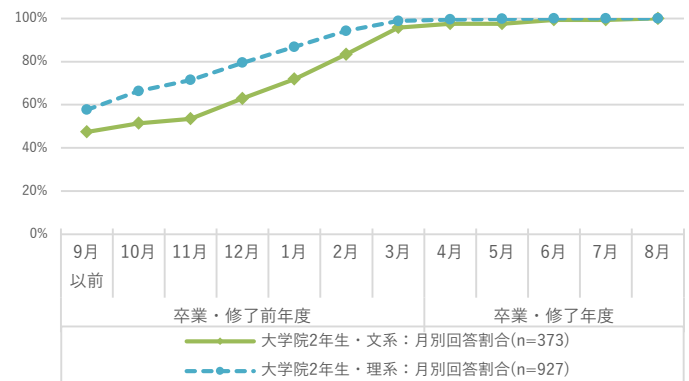


### 大学院2年生

#### 月別回答割合



#### 累計割合



### ③文系・理系別の企業説明会やセミナー等の参加状況

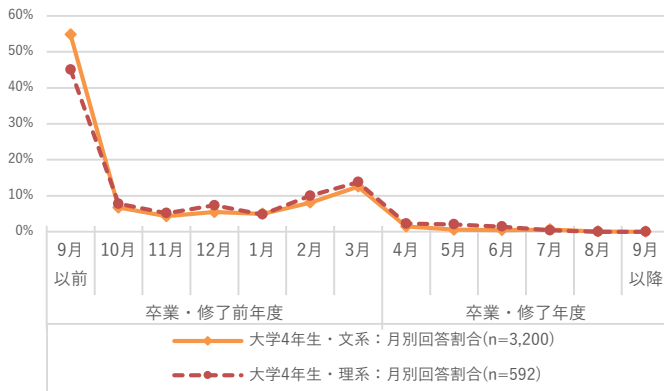
文系・理系別に、企業説明会やセミナー等の参加状況について集計すると、大学4年生では、「最初に参加した時期」は文系の学生の方が早期の回答割合が若干高く、「参加のピーク」は文系・理系で概ね同様となっている。「最後に参加した時期」は、卒業前年度2月までは文系・理系で概ね同様だが、3月以降は理系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっている。

※企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

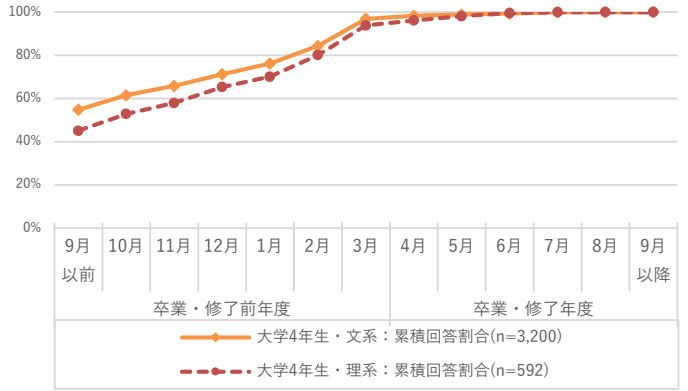
#### 大学4年生

#### 最初に参加した時期

##### 月別回答割合

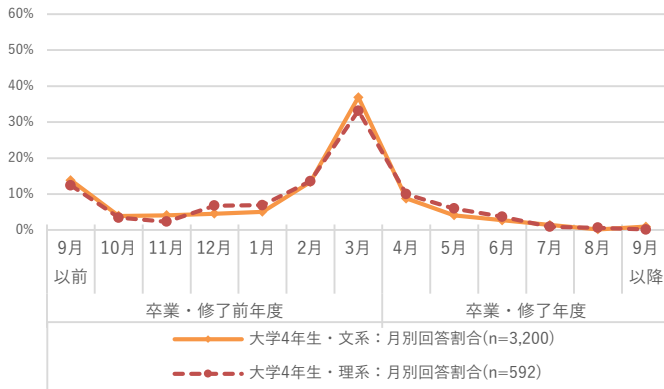


##### 累計割合

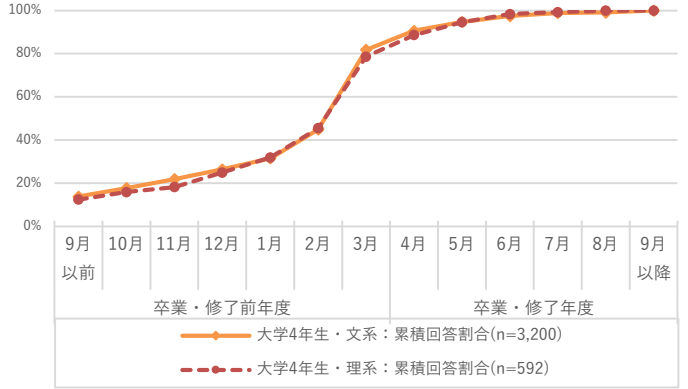


#### 参加のピーク

##### 月別回答割合

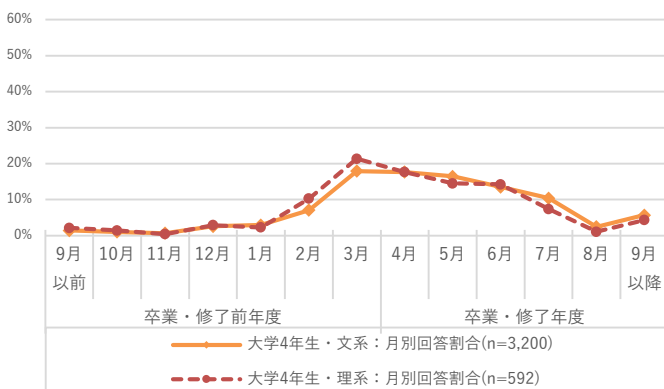


##### 累計割合

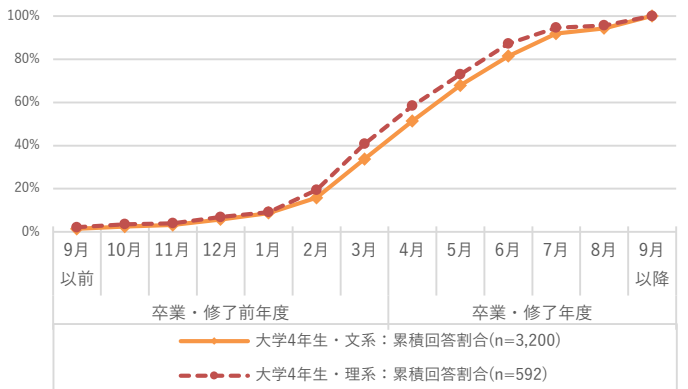


#### 最後に参加した時期

##### 月別回答割合



##### 累計割合

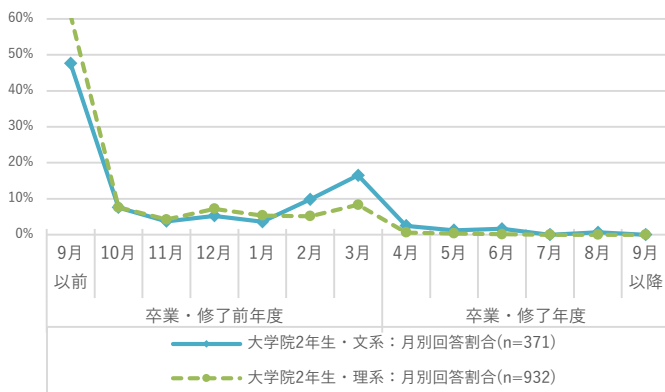




### ③文系・理系別の企業説明会やセミナー等の参加状況

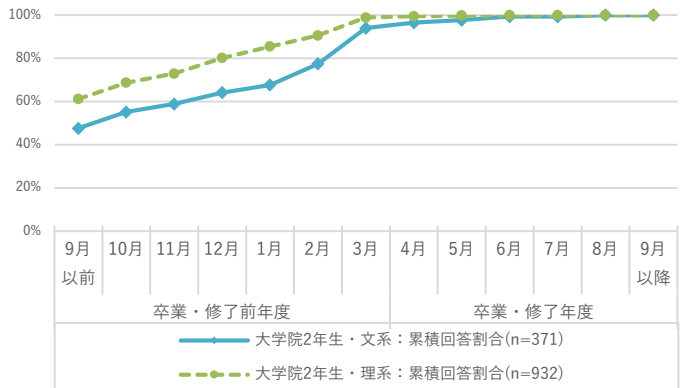
大学院2年生では、「最初に参加した時期」、「参加のピーク」、「最後に参加した時期」いずれについても理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。

大学院2年生  
月別回答割合



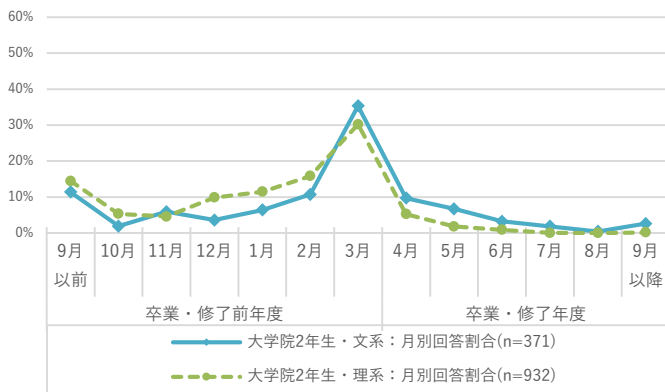
最初に参加した時期

累計割合

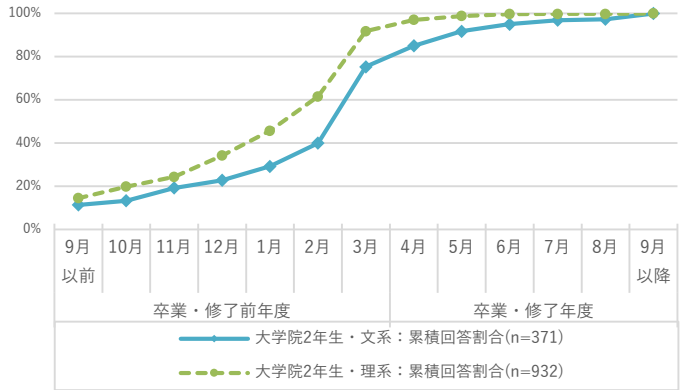


参加のピーク

月別回答割合

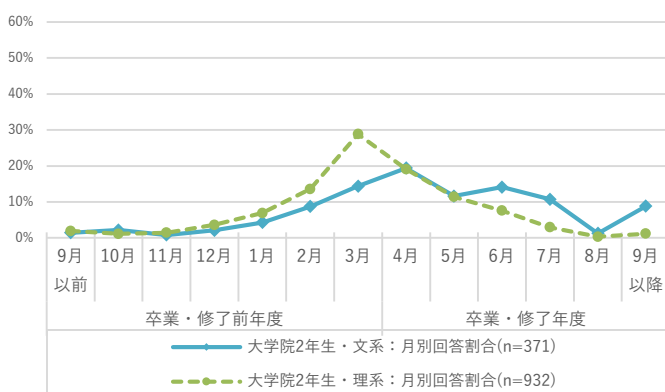


累計割合

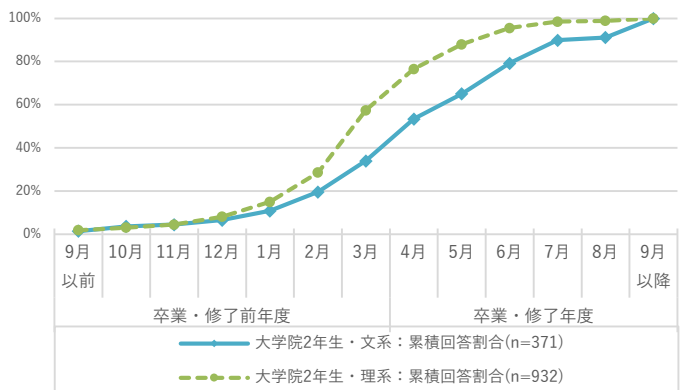


最後に参加した時期

月別回答割合



累計割合

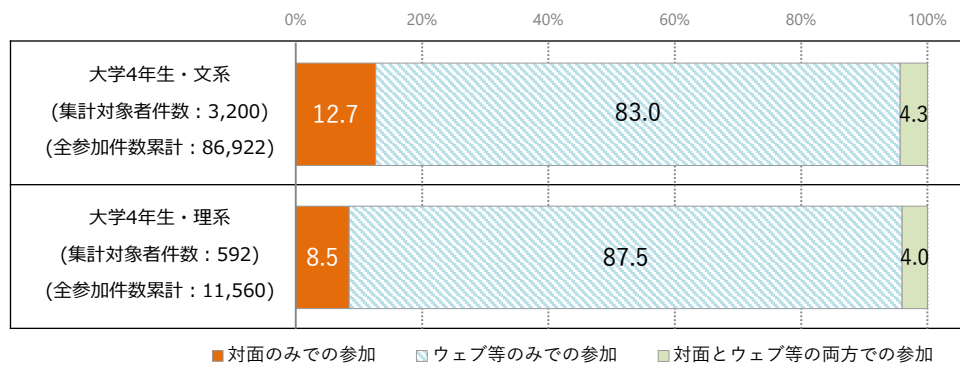


#### ④文系・理系別の企業説明会やセミナー等への参加数に対する方法別参加数の割合

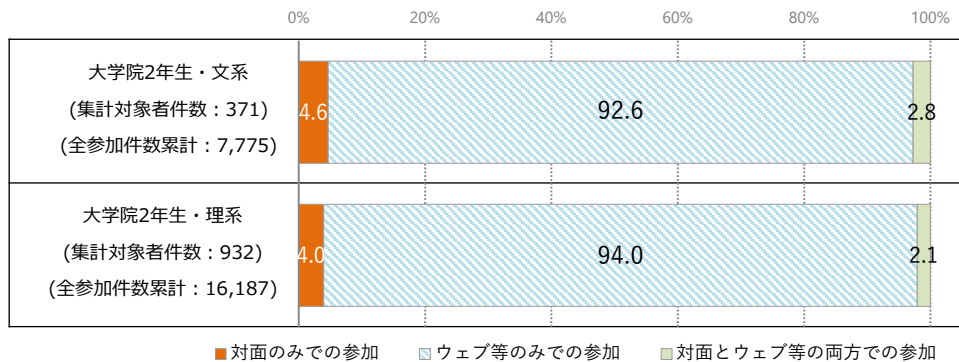
文系・理系別に、企業説明会やセミナー等について参加した方法別のすべての企業数を累計※1し、参加方法別の件数が占める割合を集計したところ、大学4年生では、「ウェブ等のみでの参加」は文系では約8割、理系では約9割となっている。

また、大学院2年生については、「ウェブ等のみでの参加」は文系、理系ともに約9割となっている。

##### 大学4年生



##### 大学院2年生



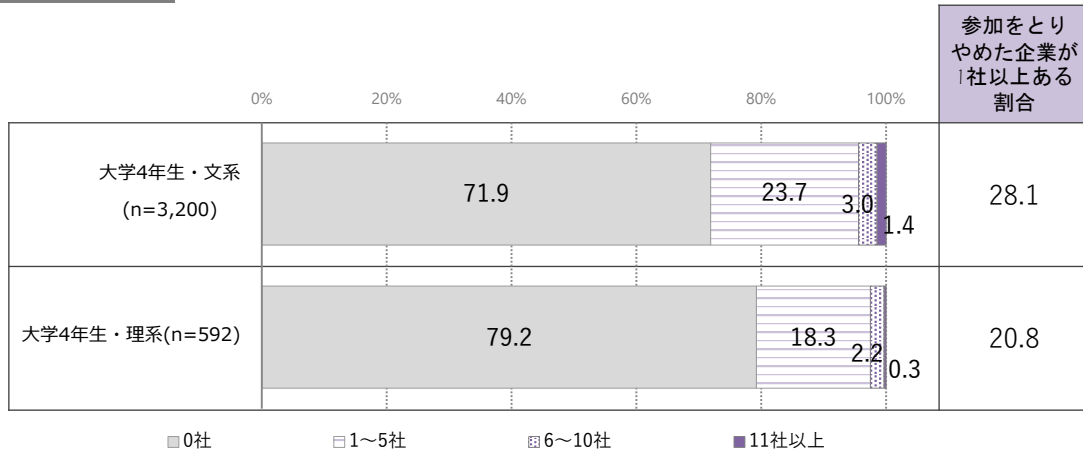
※1：今年度調査においては、合計で何社の企業説明会やセミナー等に参加したかを尋ねる設問と、対面での参加、ウェブ等での参加の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「参加した合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能なように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

### ⑤文系・理系別の対面で実施された企業説明会やセミナー等における参加動向

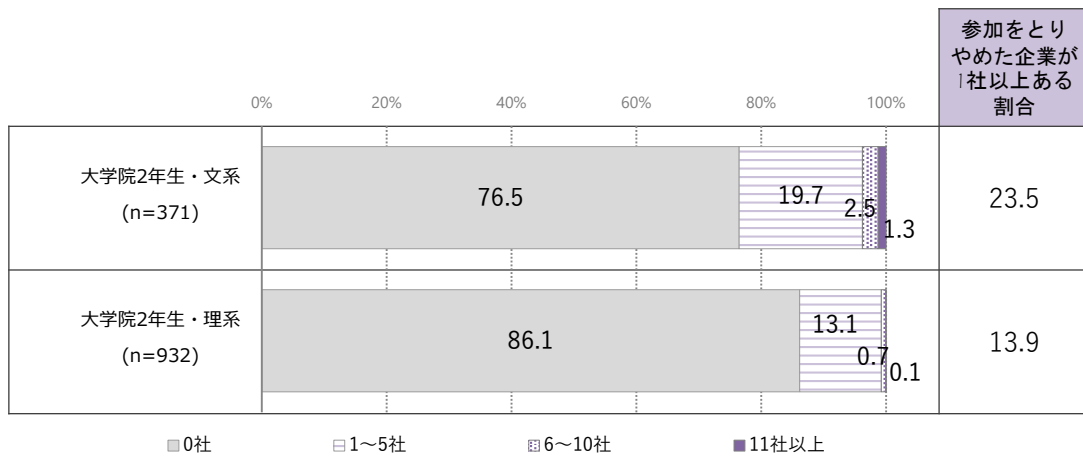
文系・理系別に、参加を予定していた企業説明会やセミナー等で、対面で実施されることを理由として、自ら参加を取りやめたものについて集計したところ、大学4年生では、1社以上と回答した者は文系では約3割、理系では約2割となっている。

また、大学院2年生では、1社以上と回答した者は文系で約2割、理系で約1割となっている。

#### 大学4年生



#### 大学院2年生



## ⑥文系・理系別のエントリーシートの提出状況

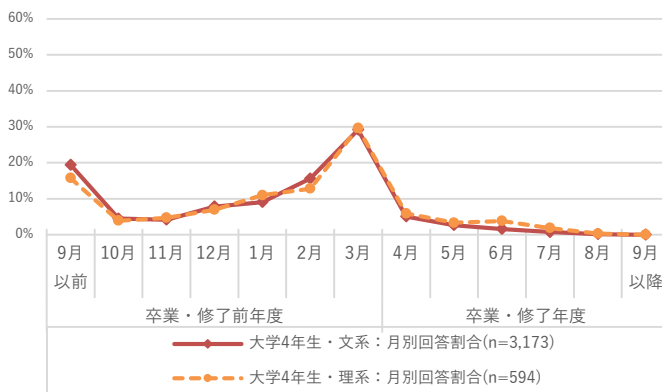
文系・理系別に、エントリーシートの提出状況について集計すると、大学4年生では、「最初に提出した時期」及び「提出のピーク」は文系・理系とで概ね同様の結果となっているが、「最後に提出した時期」については、理系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっている。

※エントリーシートの提出を「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

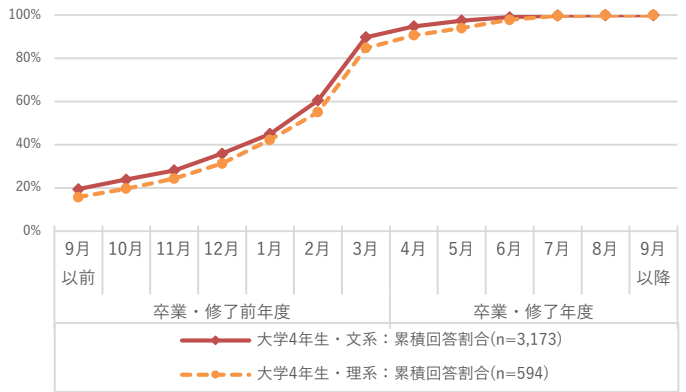
### 大学4年生

#### 最初に提出した時期

##### 月別回答割合

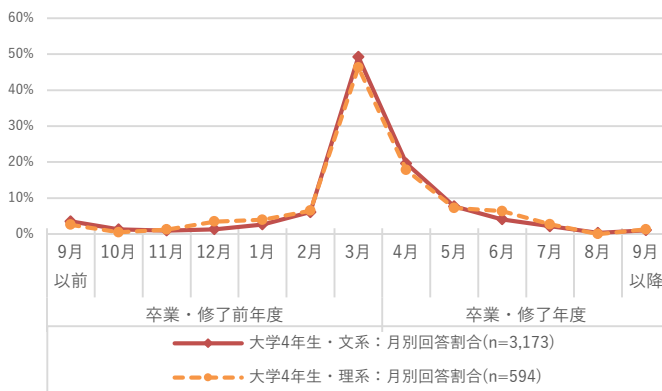


##### 累計割合

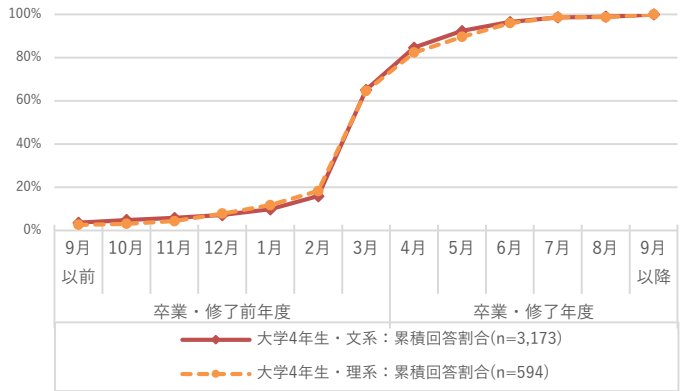


#### 参加のピーク

##### 月別回答割合

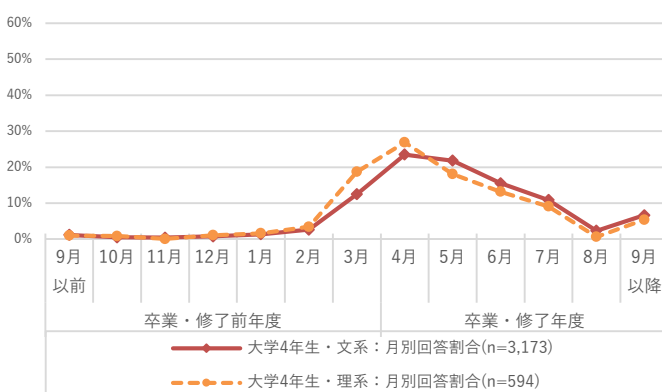


##### 累計割合

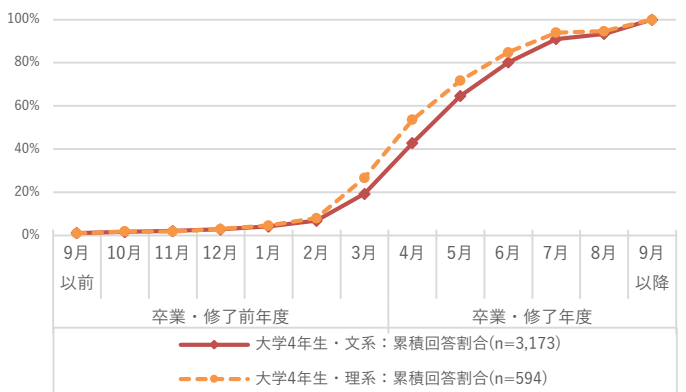


#### 最後に参加した時期

##### 月別回答割合



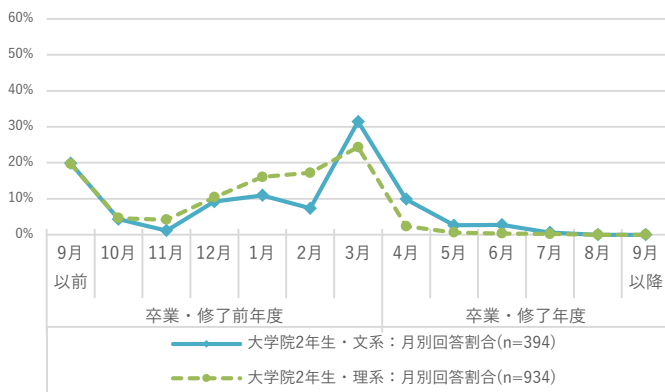
##### 累計割合



## ⑥文系・理系別のエントリーシート提出状況

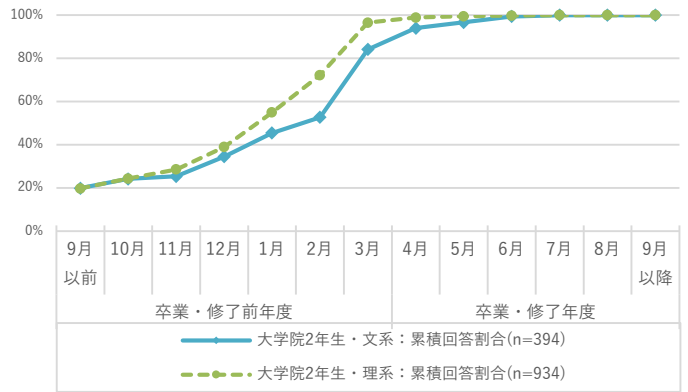
大学院2年生では、「最初に提出した時期」は修了前年度12月以降、「提出のピーク」は1月以降、「最後に提出した時期」は2月以降の時期で理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。

大学院2年生  
月別回答割合



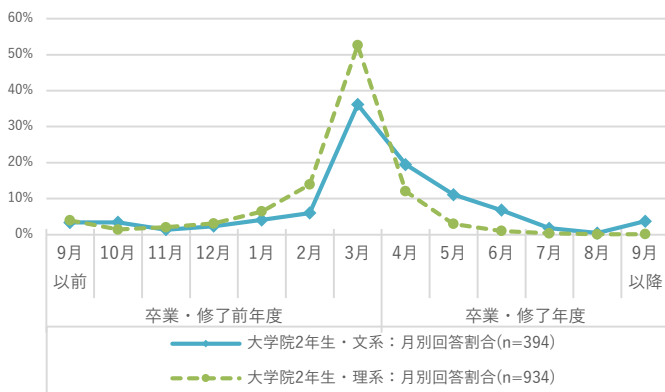
最初に提出した時期

累計割合

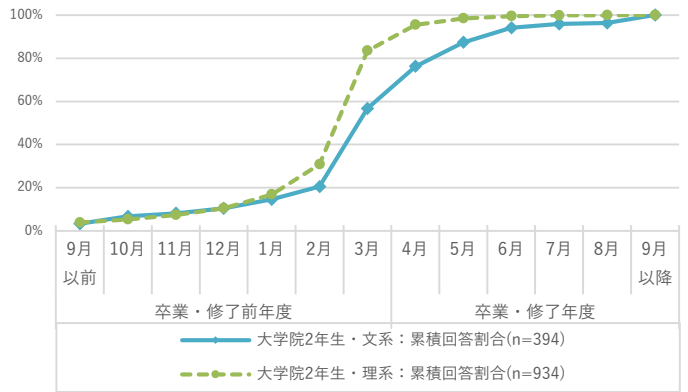


提出のピーク

月別回答割合

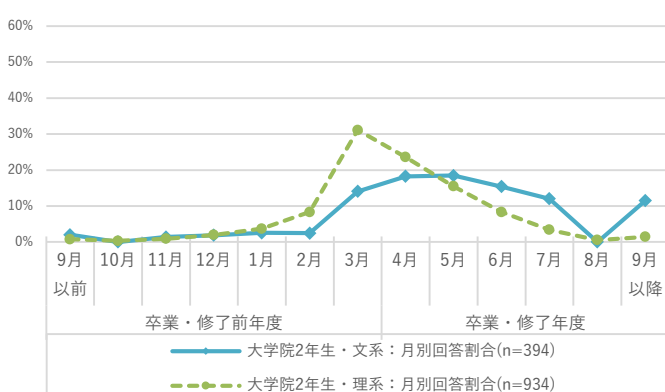


累計割合

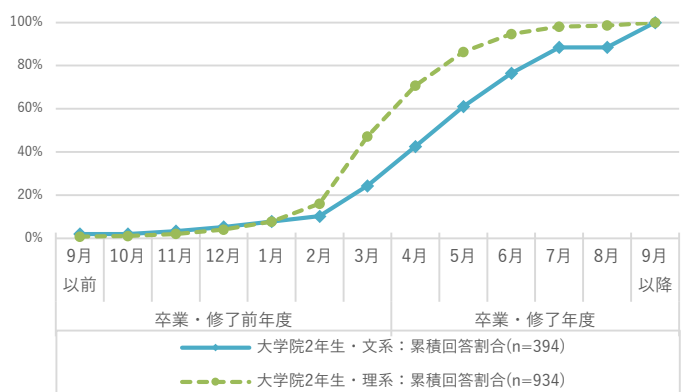


最後に提出した時期

月別回答割合



累計割合



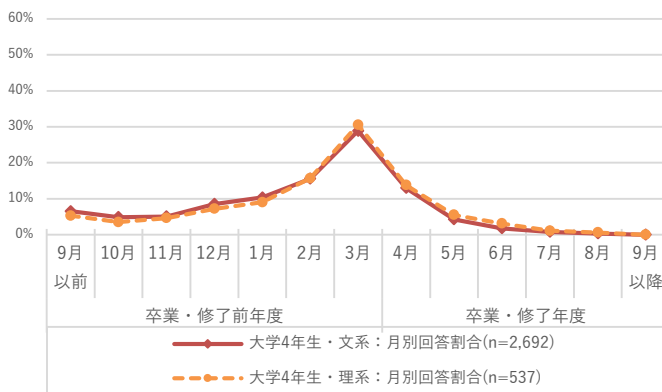
## ⑦文系・理系別の採用面接の実施状況

文系・理系別に、採用面接の実施状況について集計すると※1、大学4年生では、「最初に受けた採用面接の時期」は文系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっているが、「採用面接のピーク」「最後に受けた採用面接の時期」は理系の学生の方がより早期の回答割合が若干高くなっている。

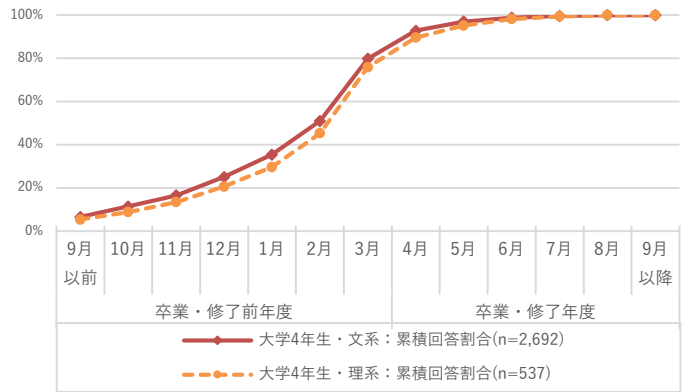
### 大学4年生

### 最初に受けた採用面接の時期

#### 月別回答割合

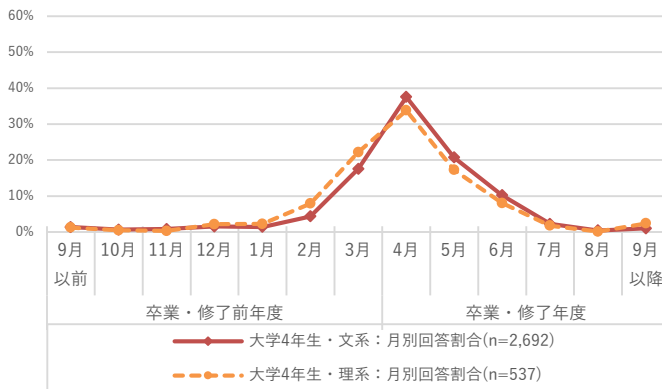


#### 累計割合

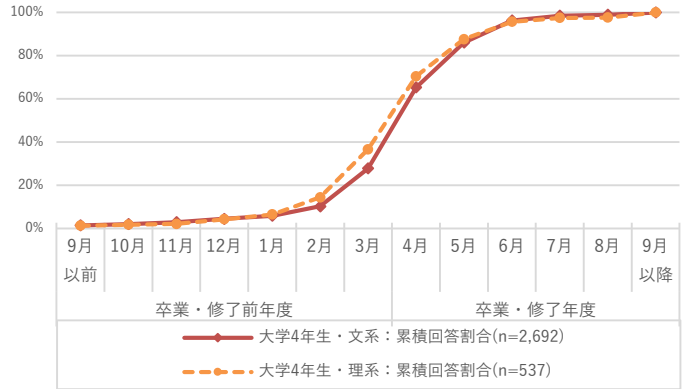


### 採用面接のピーク

#### 月別回答割合

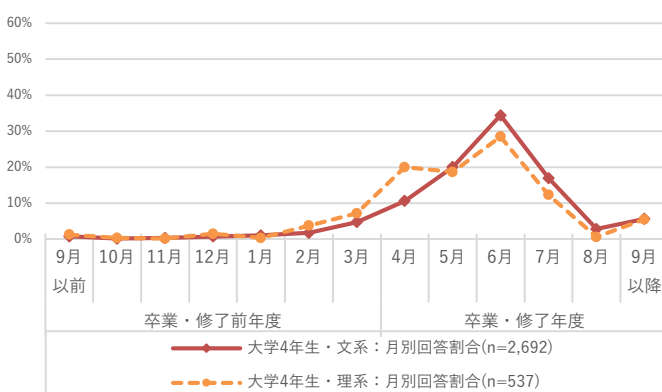


#### 累計割合

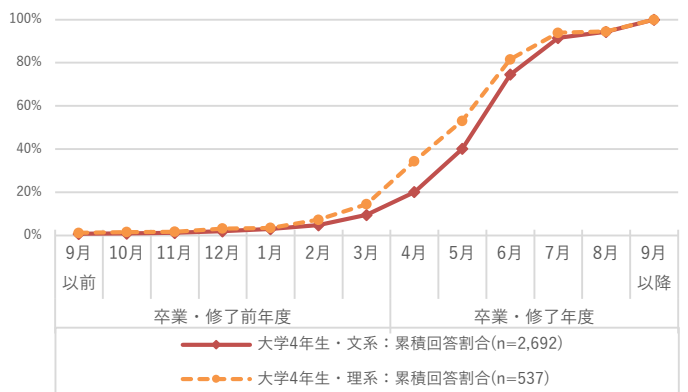


### 最後に受けた採用面接の時期

#### 月別回答割合



#### 累計割合

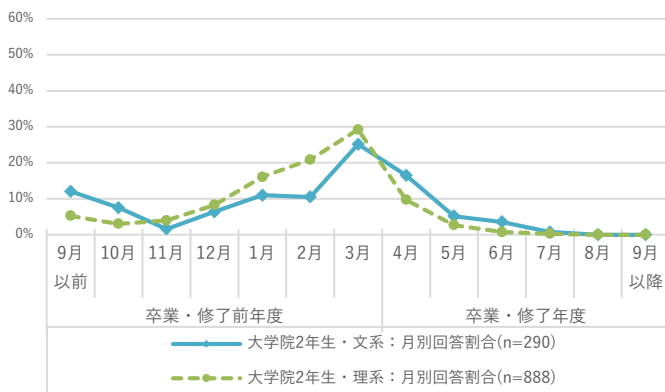


※1：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした。また、その上で、採用面接について「特段受けなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

## ⑦文系・理系別の採用面接の実施状況

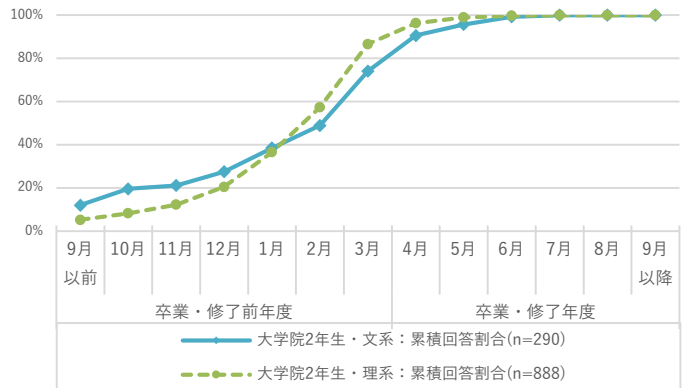
大学院2年生では、「最初に受けた採用面接の時期」については修了前年度1月以降、「採用面接のピーク」「最後に受けた採用面接の時期」については2月以降の時期において、理系の学生の方がより早期の回答割合が高くなっている。

大学院2年生  
月別回答割合



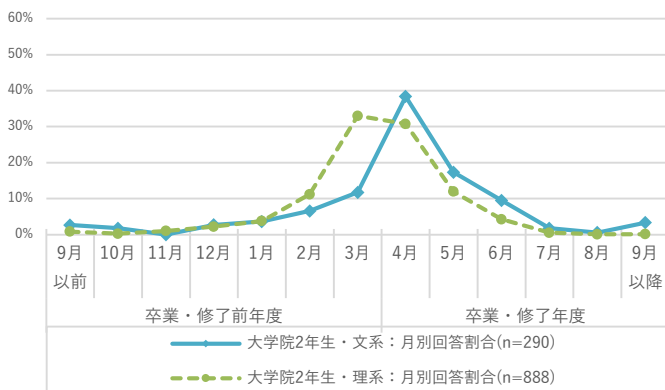
最初に受けた採用面接の時期

累計割合

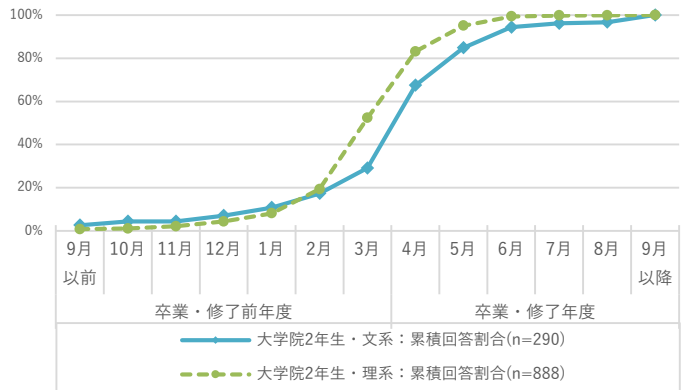


採用面接のピーク

月別回答割合

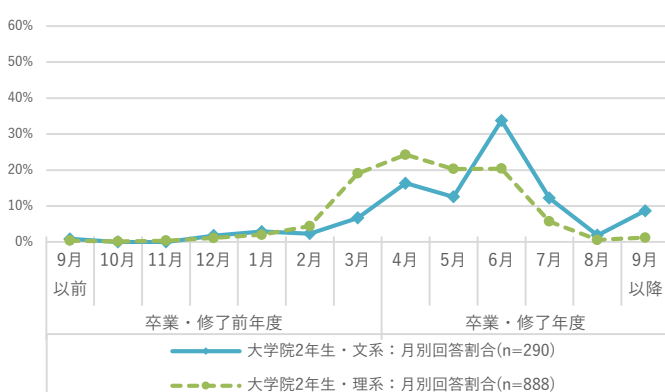


累計割合

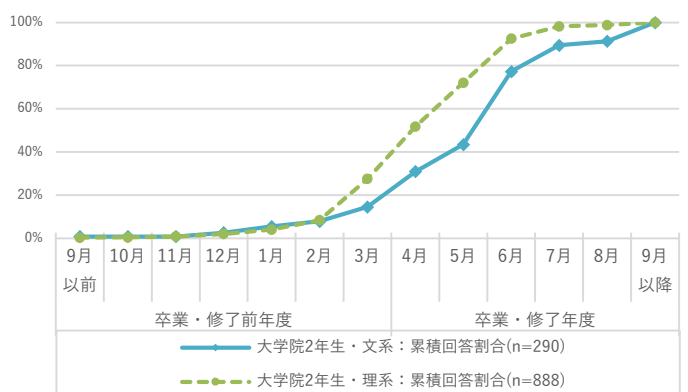


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



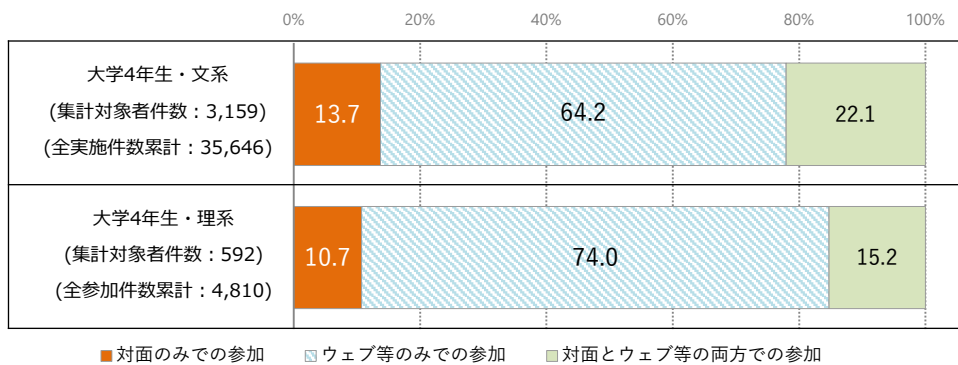
累計割合



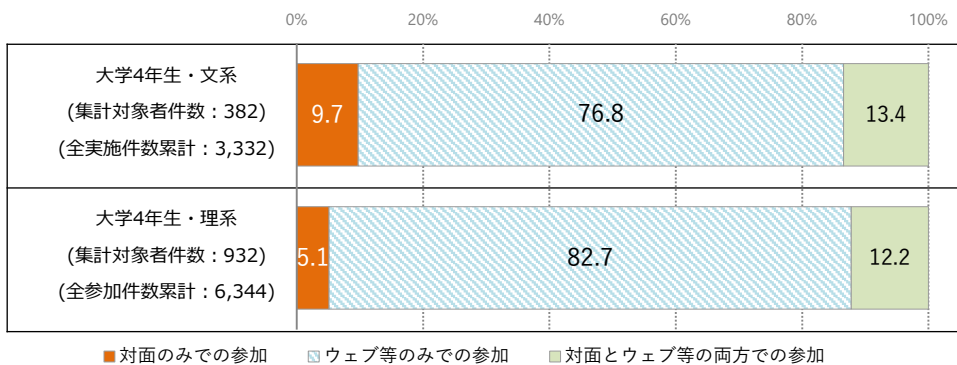
## ⑧文系・理系別の採用面接を受けた企業数に対する方法別実施数の割合

文系・理系別に、採用面接について実施された方法別のすべての企業数を累計※1し、実施方法別の件数が占める割合を集計したところ、大学4年生について「ウェブ等のみでの実施」は文系で約6割、理系で約7割となっている。また、大学院2年生については、「ウェブ等のみでの実施」は文系、理系ともに約8割となっている。

### 大学4年生



### 大学院2年生



※1：今年度調査においては、合計で何社の企業説明会やセミナー等に参加したかを尋ねる設問と、対面での参加、ウェブ等での参加の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「参加した合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能なように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。



## ⑨文系・理系別の内々定を受けた時期

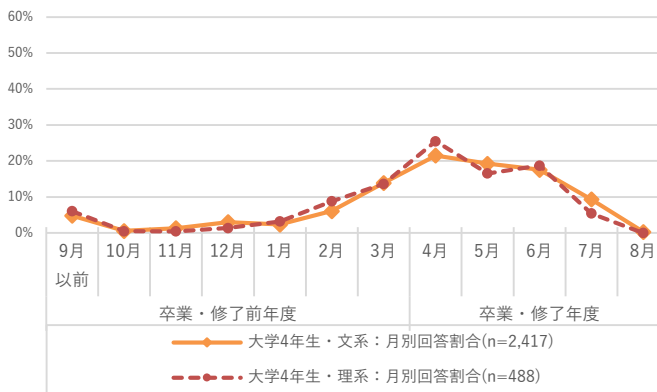
文系・理系別に、最初の内々定を受けた時期について集計すると※1、大学4年生では、文系、理系ともに卒業終了年度の4月の割合が高くなっている。

大学院2年生では、文系の学生は修了年度の4月、理系の学生は修了前年度の3月、4月の回答割合が高くなっている。

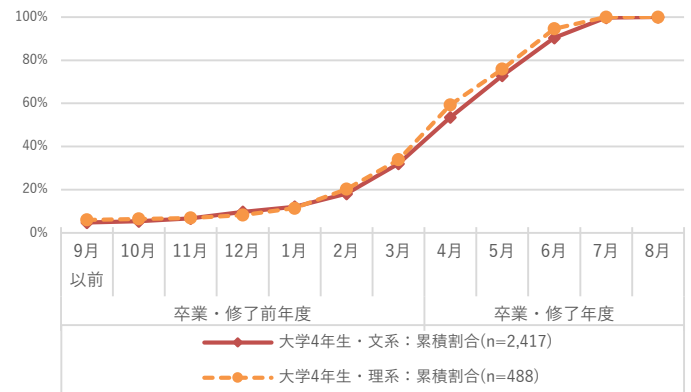
### 大学4年生

### 最初に内々定を受けた時期

#### 月別回答割合

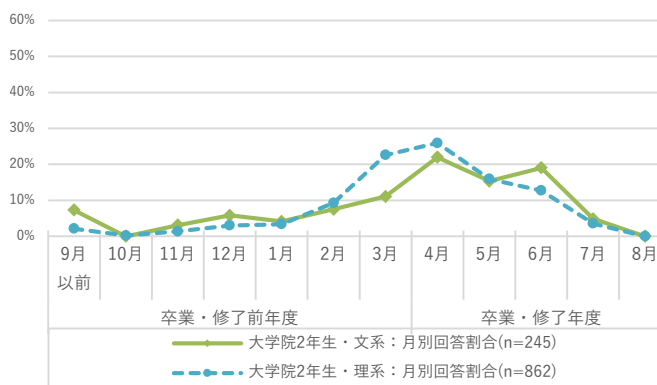


#### 累計割合

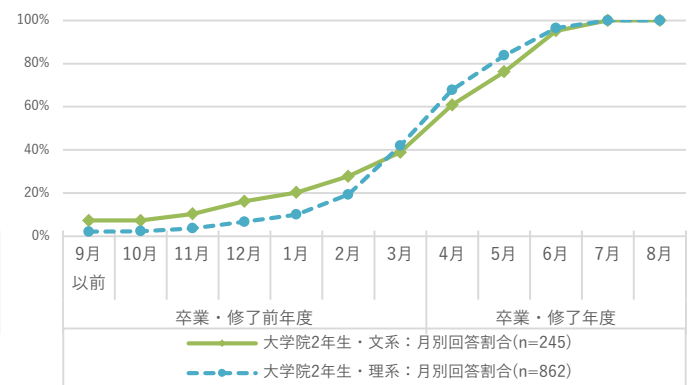


### 大学院2年生

#### 月別回答割合



#### 累計割合



※1：1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。  
 なお、ここでの集計でも、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、内々定を受けていないと回答した者は集計の対象外としている。

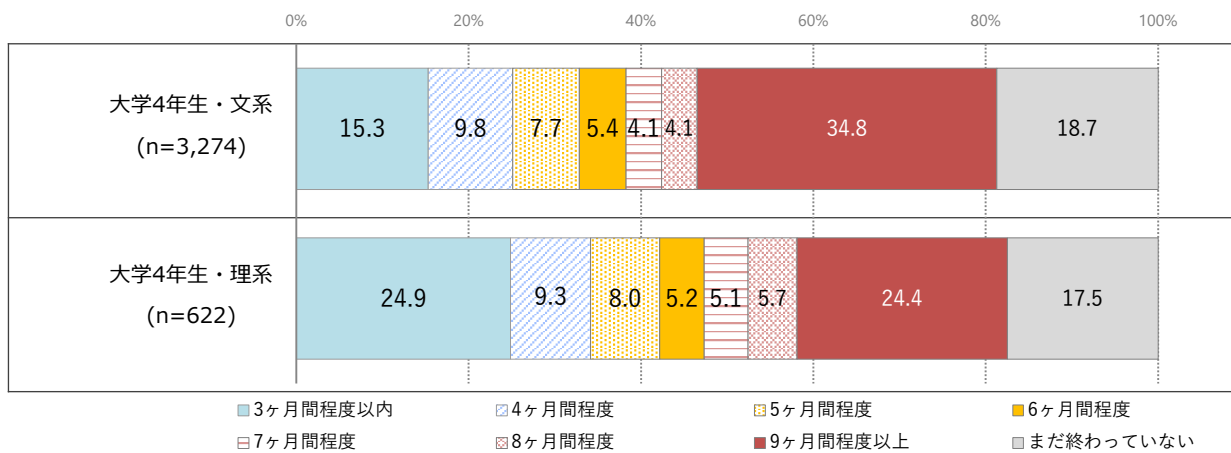
## ⑩就職活動の始まりから終わりまでの期間

文系・理系別に、「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」までの期間※1を集計すると、特に大学4年生に関して、理系の学生の方がより短い期間の割合が高くなっている。

大学院2年生については、理系の学生は「まだ終わっていない」の回答割合は比較的低いものの、「9ヶ月間程度以上」の割合は高く、一方で、「3ヶ月間程度以内」の割合は文系と比べ高いことから、短期間で終了する人と長期間に渡る人とで二分化する傾向が見られる。

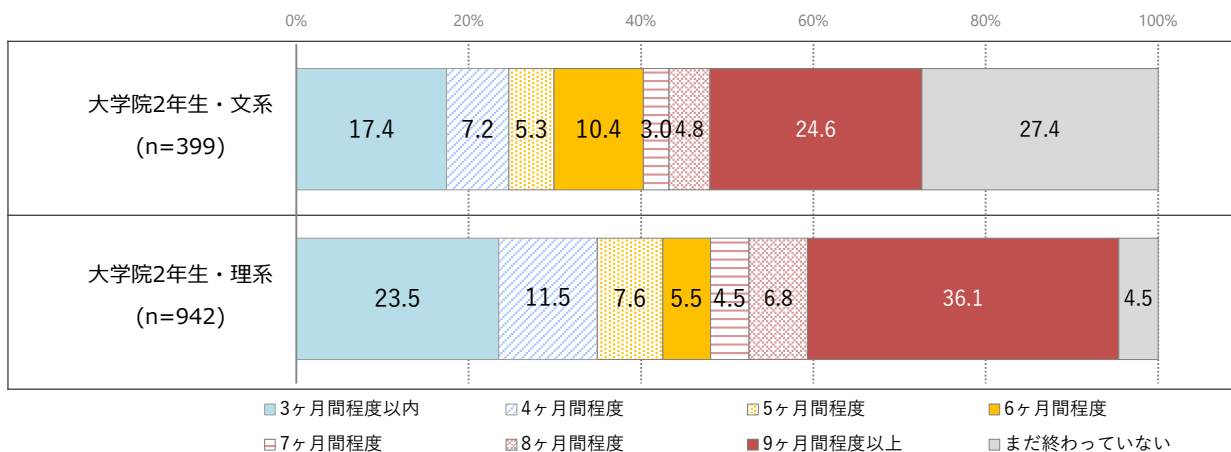
### 大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



### 大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く



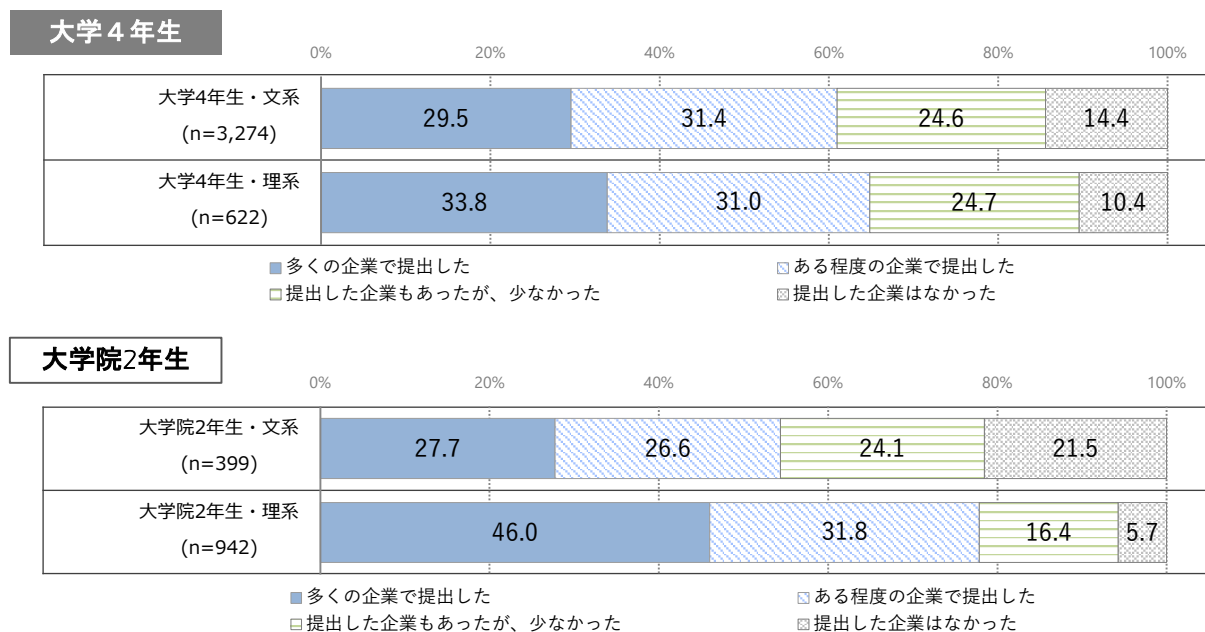
※1：ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。  
公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

## ⑪文系・理系別の学業重視の選考

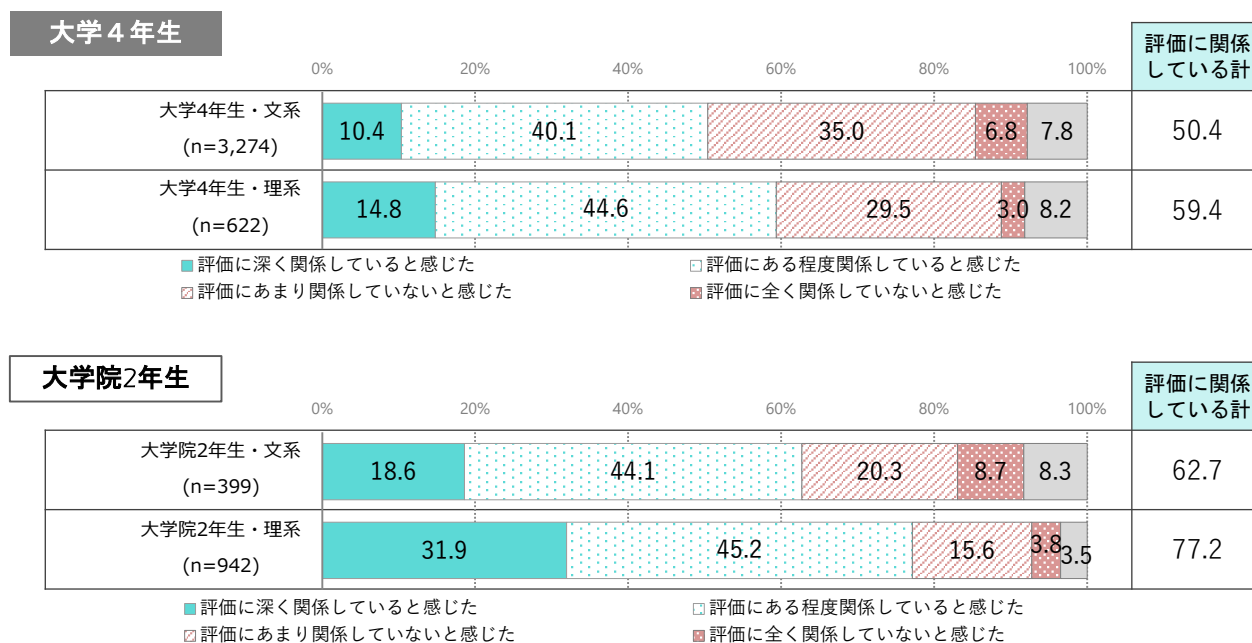
文系・理系別に、就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴(成績証明書など)の提出がどの程度求められたかについて集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「多くの企業で提出した」の回答割合は、理系の学生の方が高く、特に大学院2年生においてその差が大きくなっている。

また、採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて、文系・理系別に集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「評価に深く関係していると感じた」の回答割合は、理系の学生の方が高く、特に大学院2年生においてその差が大きくなっている。

### 【履修履歴(成績証明書など)の提出の状況】



### 【採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか】



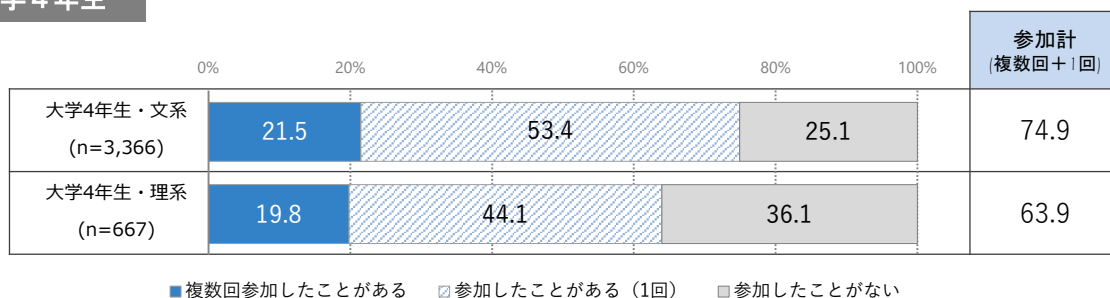
## ⑫文系・理系別のインターンシップの参加状況

文系・理系別に、インターンシップの参加経験の有無について集計すると、「参加したことがある」の回答割合は、大学4年生では文系の学生の方が高く、大学院2年生では理系の学生の方が高くなっている。

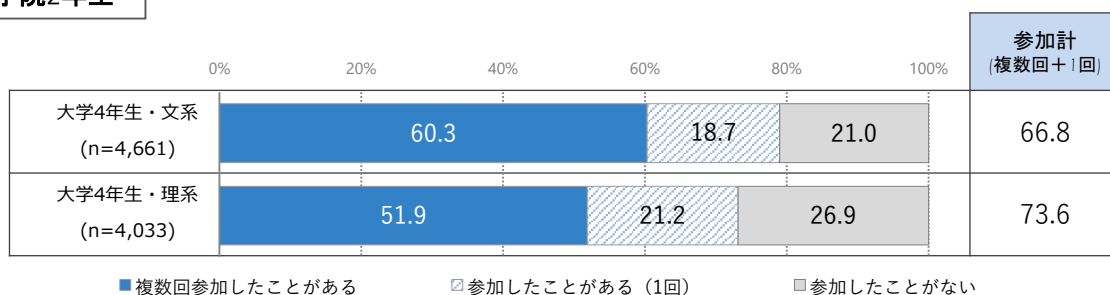
また、参加日数(参加したインターンシップのうち、最長の日数のもの)について、大学4年生では5日以上などより長期間のインターンシップに参加したことがある者の割合は、理系の学生の方が高くなっているが、大学院2年生では文系の方がやや高くなっている。

### 【インターンシップ参加経験の有無】

#### 大学4年生

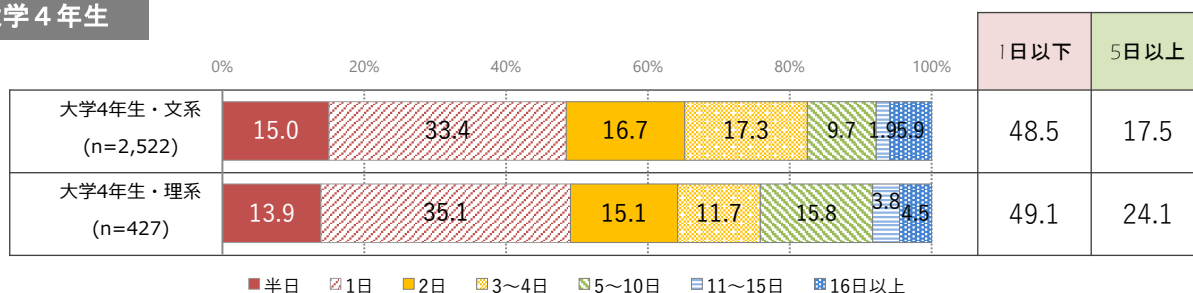


#### 大学院2年生

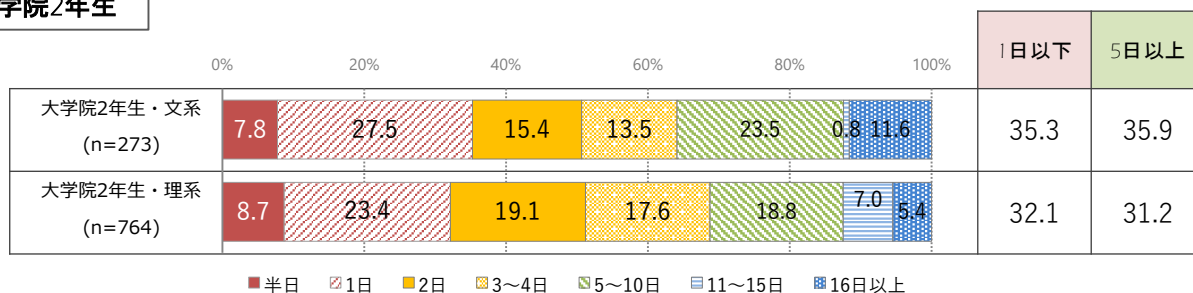


### 【インターンシップ参加の日数】

#### 大学4年生



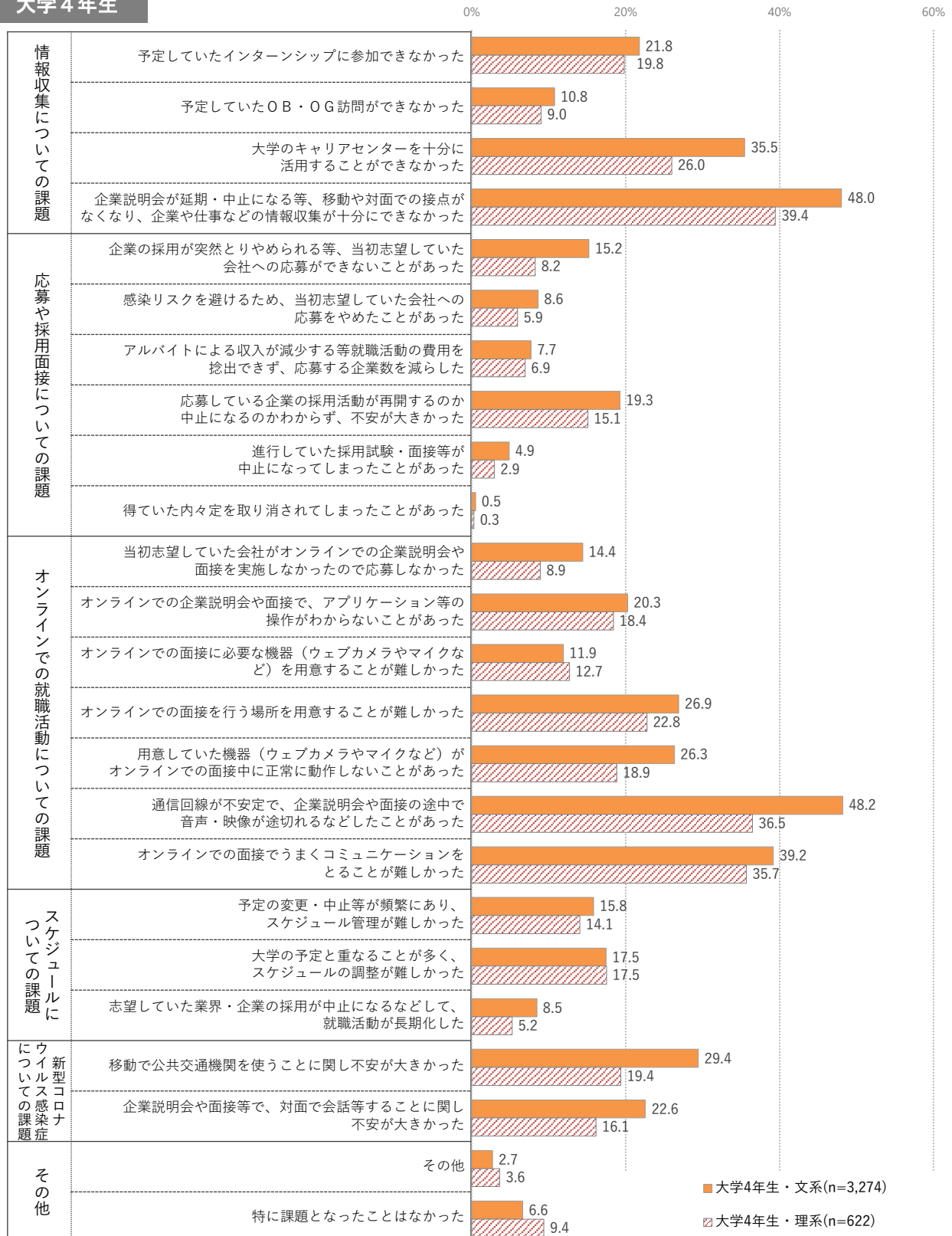
#### 大学院2年生



### ⑬文系・理系別の就職活動に関する新型コロナウイルス感染症による課題

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、課題になったこととして、大学4年生では総じて文系の方が割合が高い項目が多く、特に「通信回線が不安定で、企業説明会や面接の中で音声・映像が途切れるなどしたことがあった」「移動で公共交通機関を使うことに関し不安が大きかった」では10%以上の差と、差が大きくなっている。

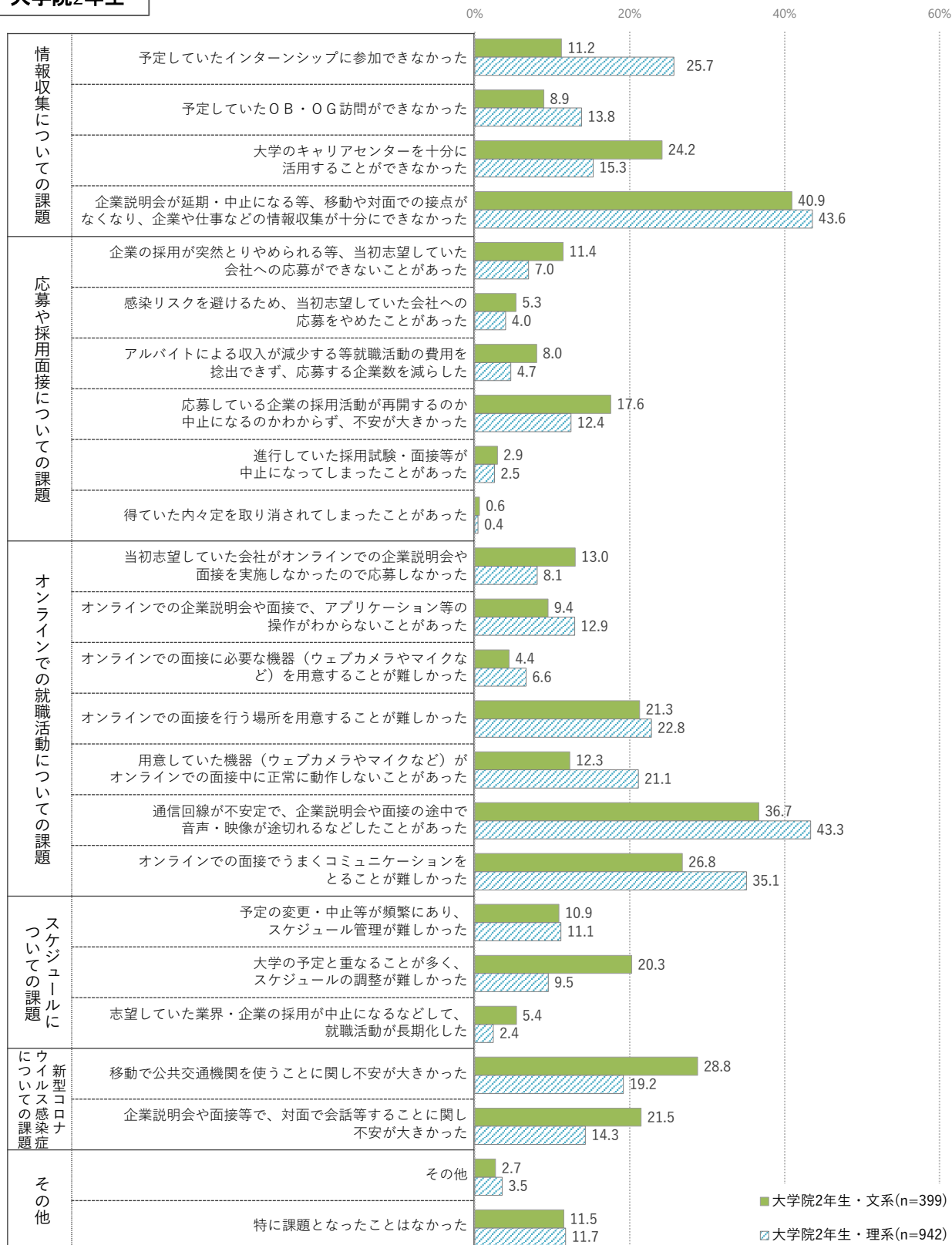
#### 大学4年生



### ⑬文系・理系別の就職活動に関する新型コロナウイルス感染症による課題

大学院2年生では、文系の方が高い項目、理系の方が高い項目がどちらもあり、文系理系で10%以上差があるものでは「予定していたインターンシップに参加できなかった」では理系の方が10%以上高く、「大学の予定と重なることが多く、スケジュールの調整が難しかった」では文系の方が10%以上高い。

#### 大学院2年生



## 第八章 就職予定の企業の業界別の集計

# 第八章 就職予定の企業の業界別の集計

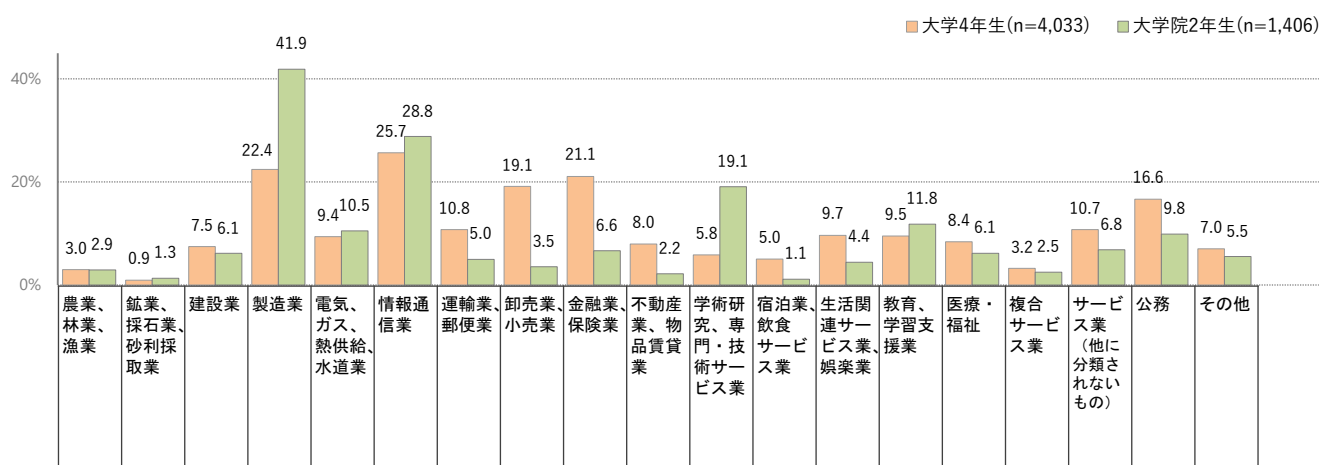
## (1) 就職予定の企業の業界別の就職活動内容

### ①志望業界・就職予定の企業の業界に関する回答状況

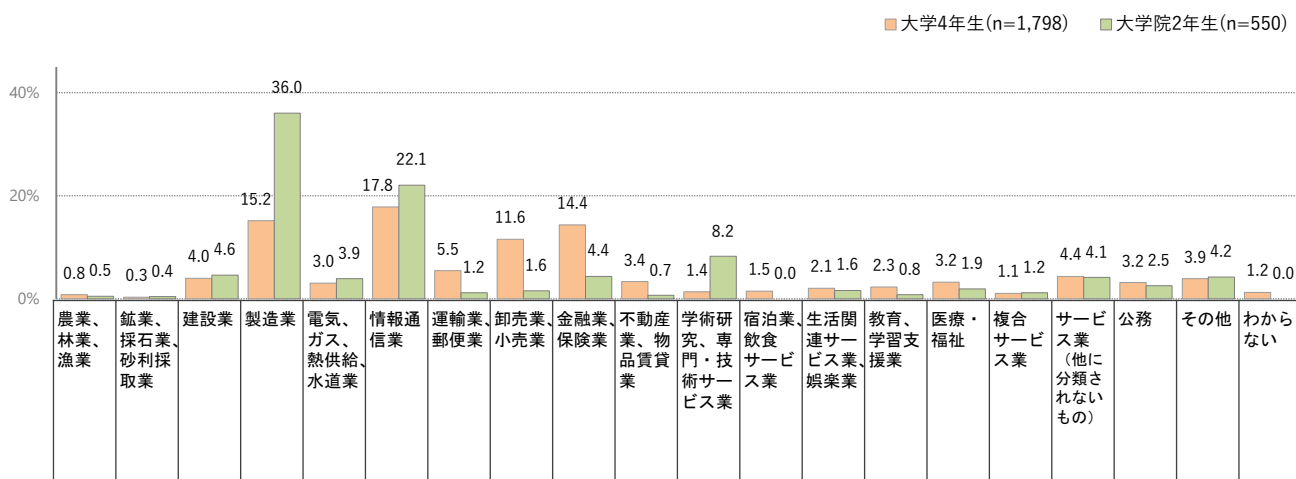
就職活動を行うにあたり、志望していた(志望している)就職先の業界について集計すると※1、大学4年生では「情報通信業」「製造業」の順、大学院2年生では「製造業」「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」の順で回答割合が高くなっている。

また、内々定を受けた者に関して、就職予定の企業の業界について集計しても同様で、大学4年生では「情報通信業」「製造業」「金融業、保険業」の順、大学院2年生では「製造業」「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」の順で回答割合が高くなっている。

【志望業界（複数回答）】



【内々定を受けた就職予定の企業の業界（単数回答）】



※1：この設問の対象は、「就職活動を行った（終えた）」「就職活動を行っている（継続している）」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者であったが、ここでは、「就職活動を行った（終えた）」「就職活動を行っている（継続している）」とした者のみを集計対象とした。

【志望業界(複数回答)】の図は志望していた就職先の業界について該当するものをすべて回答してもらったものであるのに対し、【内々定を受けた就職予定の企業の業界】は、就職予定の企業について選択肢よりひとつのみ回答する方式によるものである。

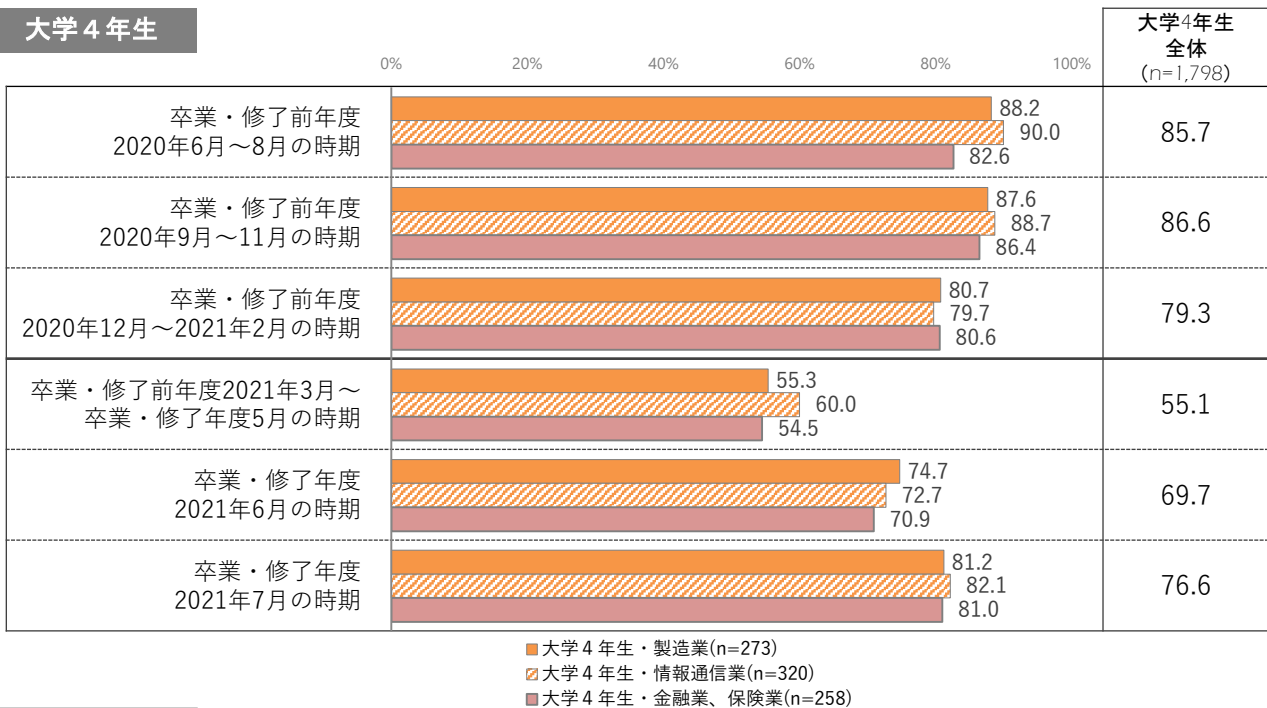


## ②就職予定の企業の業界別の就職活動と学修時間確保の状況

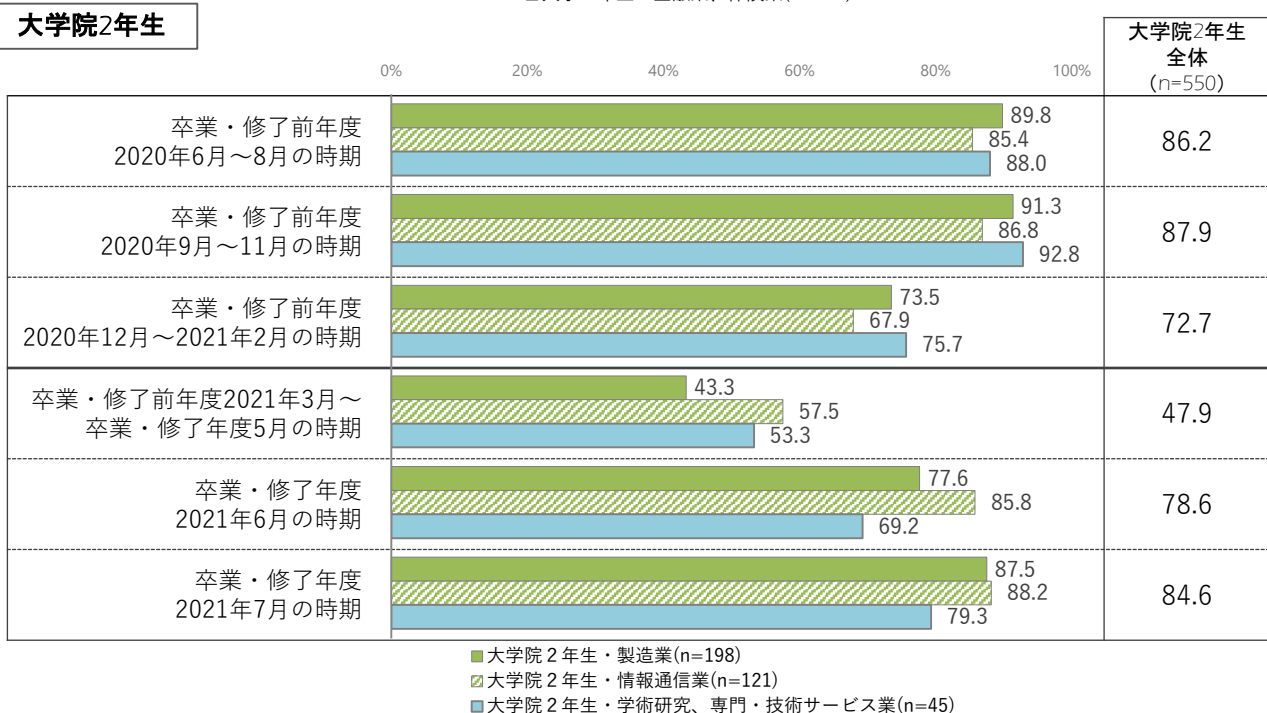
就職予定の企業の業界について該当する学生の割合が高い3業種(大学4年生に関しては「情報通信業」「製造業」「金融業、保険業」の3業種、大学院2年生に関しては「製造業」「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」の3業種)に着目し、それぞれの就職活動の状況等に違いがあるかについて集計した。

就職活動と学修時間確保の状況に関し、「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合について※1、大学4年生では、広報活動開始後の3月から5月においては「情報通信業」が、採用選考活動開始後の6月以降では「製造業」の割合がやや高くなっている。大学院2年生では広報活動開始後～採用選考活動開始後の6月以降において「情報通信業」の割合が高くなっている。

### 大学4年生



### 大学院2年生



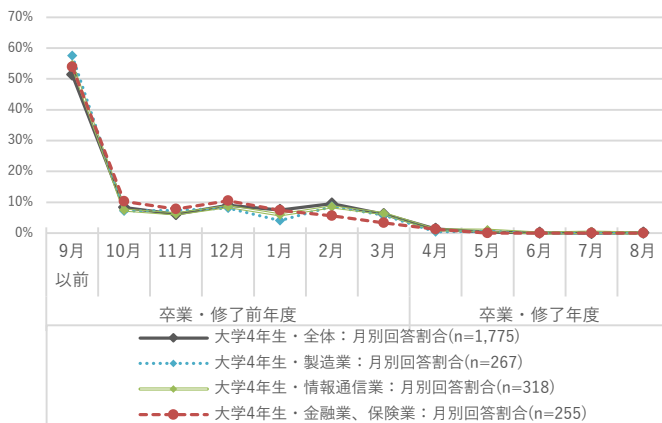
※1: 就職活動との関係で学修時間の確保ができたかどうかを尋ねた設問について、「就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた」「就職活動に少し時間を割くことがあったが、必要な学修時間は確保できた」「就職活動に時間を割くことがあったが、一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

### ③就職予定の企業の業界別の業界や企業に関する分析を開始した時期

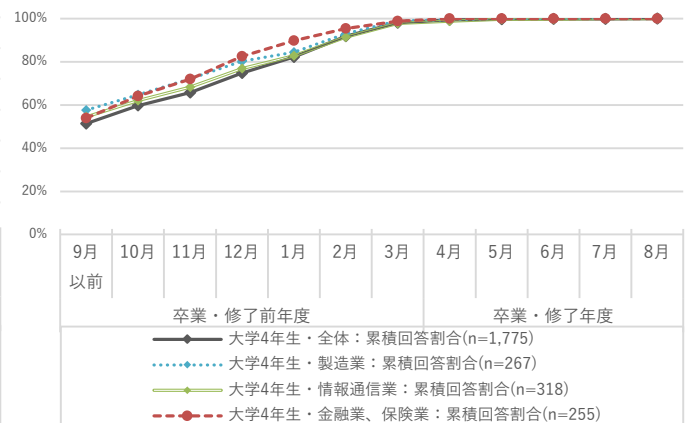
就職予定の企業の業界別に、業界や企業に関する分析を開始した時期を集計すると※1、大学4年生ではどの業界でも概ね同様となっているが、大学院2年生では、「学術研究、専門・技術サービス業」の者で比較的遅い時期の回答割合が高くなっている。

#### 大学4年生

##### 月別回答割合

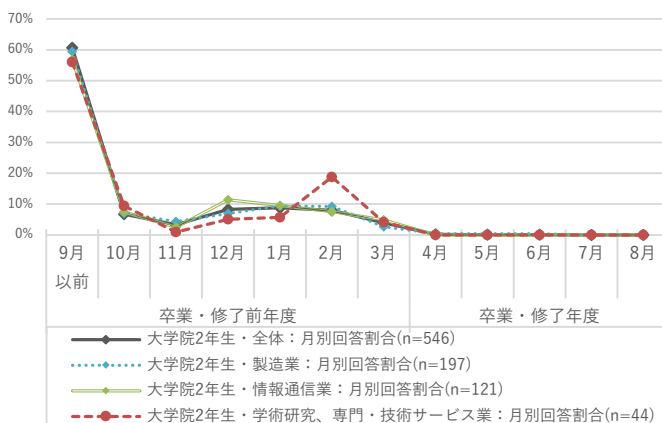


##### 累計割合

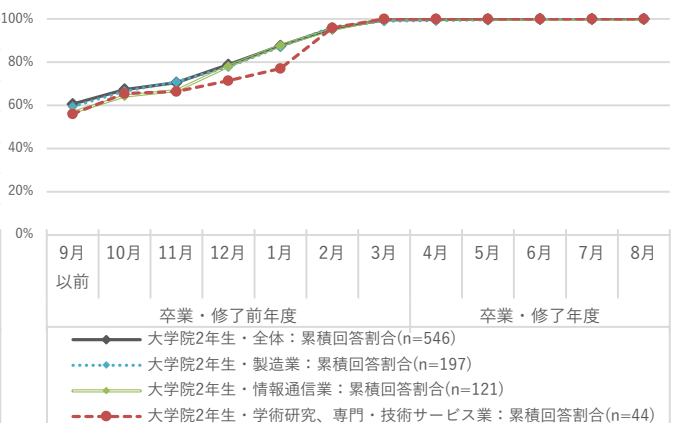


#### 大学院2年生

##### 月別回答割合



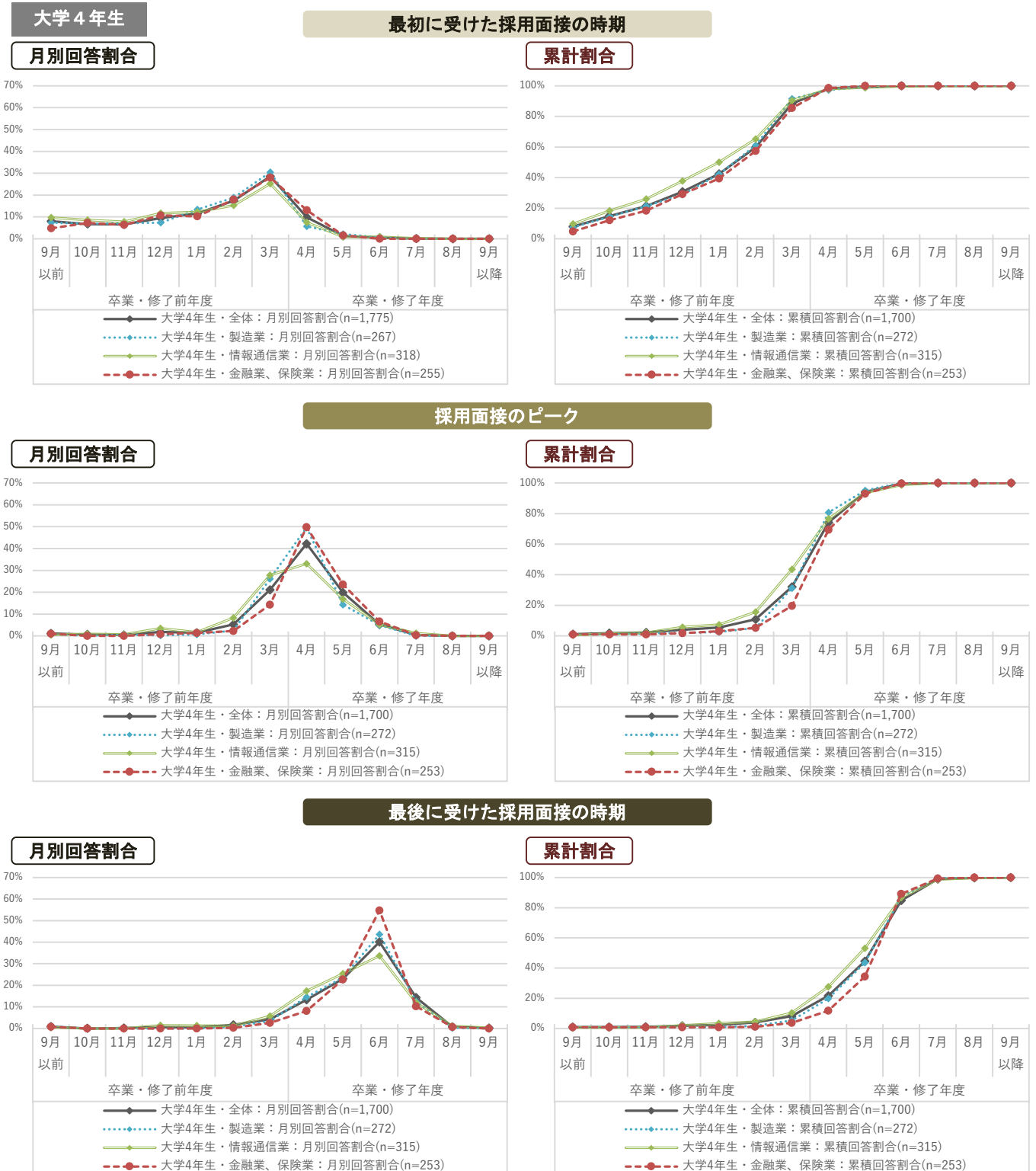
##### 累計割合



※1：業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

#### ④就職予定の企業の業界別の採用面接の実施状況

就職予定の企業の業界別に、採用面接の実施状況を集計すると※1、大学4年生では、就職予定の企業の業界が「情報通信業」の者で、「最初」「ピーク」「最後」のいずれについても、より早期の回答割合が若干高くなっている。大学院2年生では、就職予定の企業の業界が「情報通信業」の者について「最初」「ピーク」「最後」でより早期の回答割合が高くなっている。



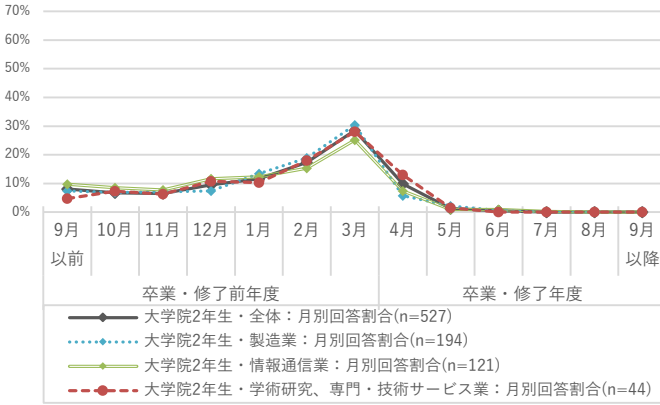
※1：採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。「全体」の集計結果は公務員や教職員志望者を除いて集計したものである。

#### ④就職予定の企業の業界別の採用面接の実施状況

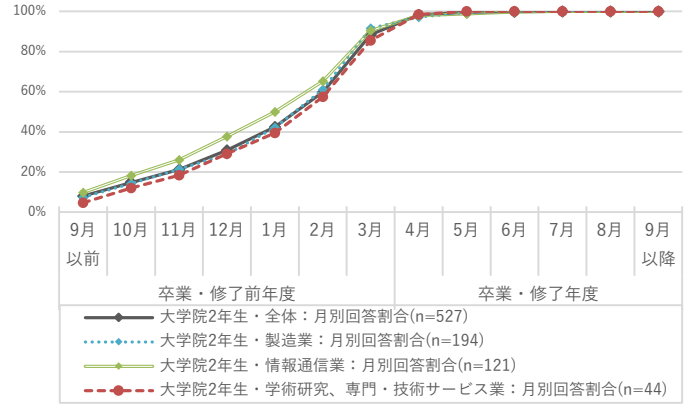
##### 大学院2年生

##### 最初に受けた採用面接の時期

###### 月別回答割合

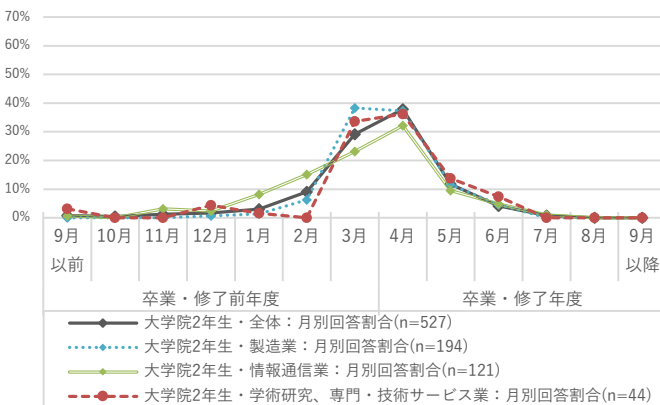


###### 累計割合

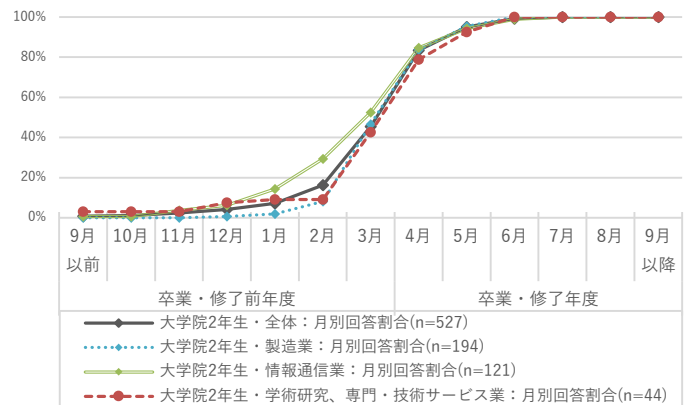


##### 採用面接のピーク

###### 月別回答割合

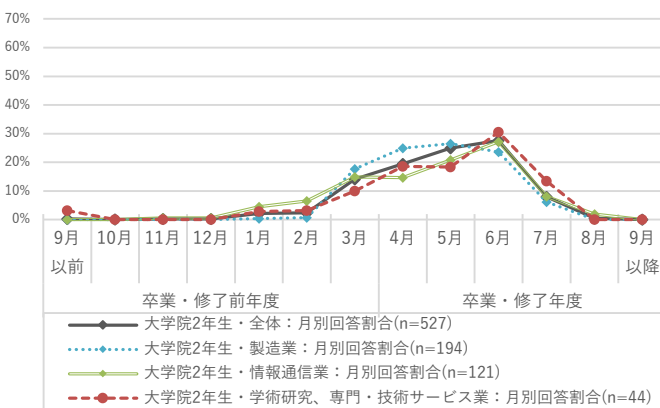


###### 累計割合

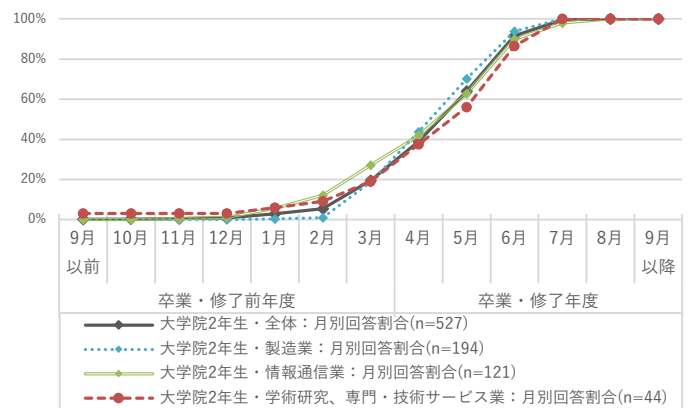


##### 最後に受けた採用面接の時期

###### 月別回答割合



###### 累計割合

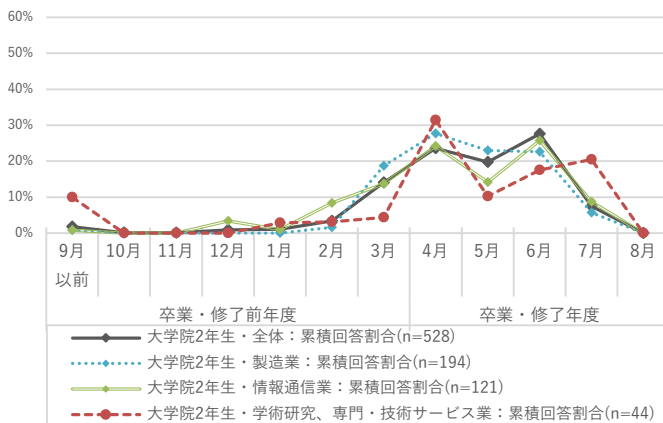


## ⑤就職予定の企業の業界別の内々定を受けた時期

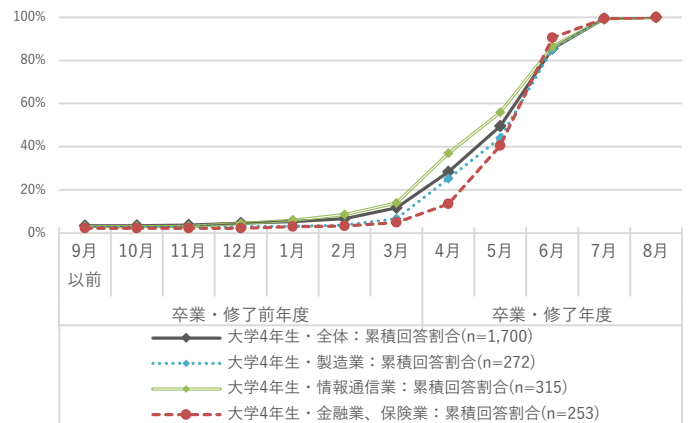
就職予定の企業の業界別に内々定を受けた時期について集計すると※1、大学4年生では、就職予定の企業の業界が「情報通信業」の者は、より早い時期に内々定を受けた割合が若干高くなっている。また、大学院2年生では、就職予定の企業の業界が「情報通信業」の者や「学術研究、専門・技術サービス業」の者で、より早い時期に内々定を受けた割合が若干高くなっている。

### 大学4年生

#### 月別回答割合

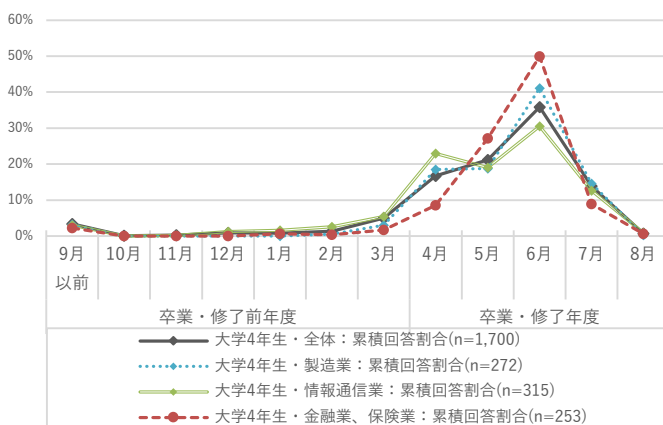


#### 累計割合

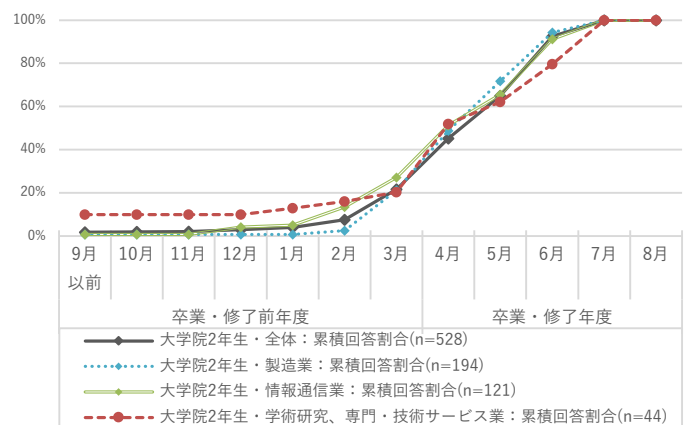


### 大学院2年生

#### 月別回答割合



#### 累計割合



※1: 1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、ここでの「内々定」は就職予定の企業のものに限らない。「全体」の集計結果は公務員や教職員志望者を除いて集計したものである。

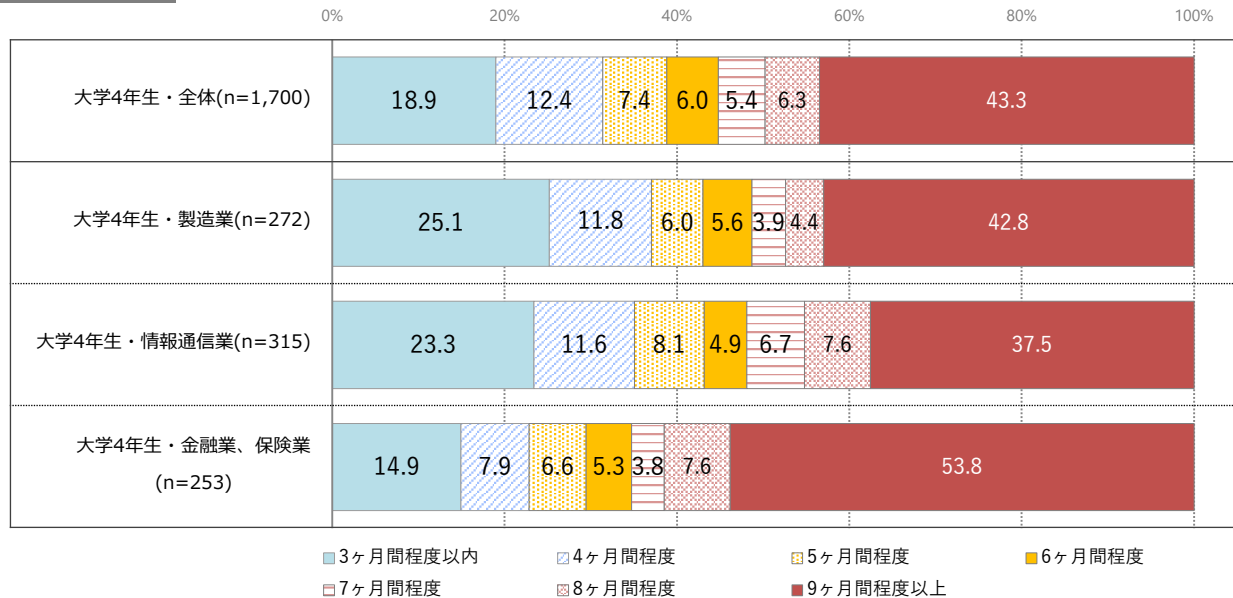
## ⑥就職予定の企業の業界別の、就職活動の始まりから終わりまでの期間

就職予定の企業の業界別に、「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」までの期間を集計すると※1、大学4年生では就職予定の企業の業界が「金融業、保険業」の者で「3ヶ月間程度以内」の回答割合が低く、「9ヶ月間程度以上」の割合が約5割と、他業界と比べ高くなっている※2。

大学院2年生では、「製造業」「学術研究、専門・技術サービス業」の者で、「9か月間程度以上」の割合が約4割となっている。

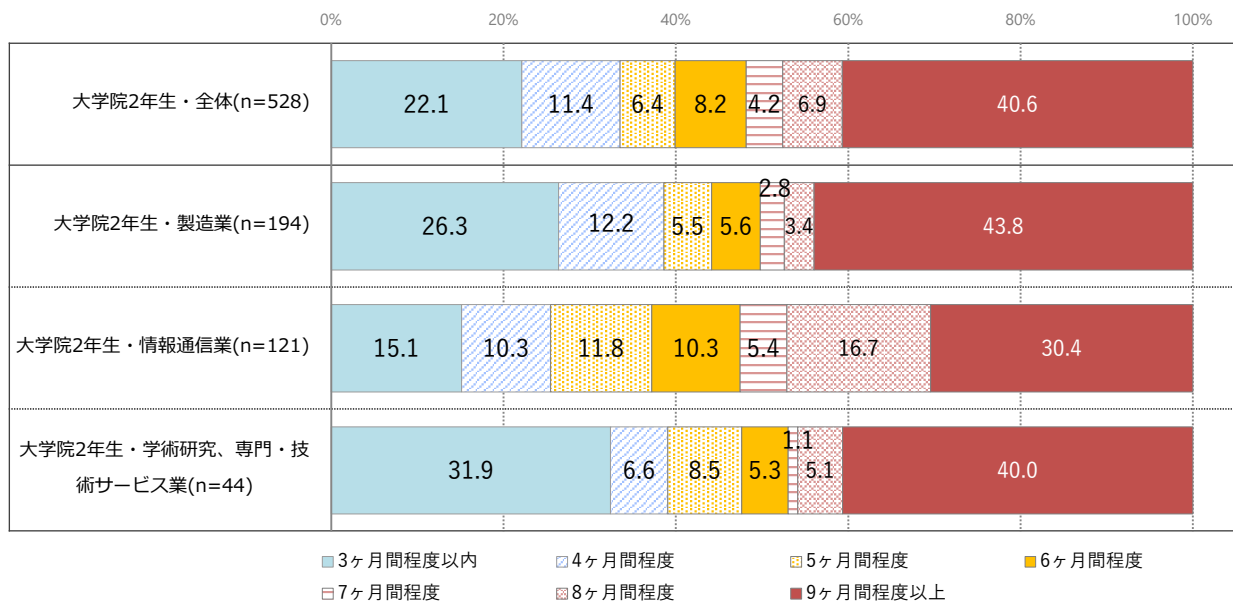
### 大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



### 大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く



※1：「全体」の集計結果は公務員や教職員志望者を除いて集計したものである。

※2：ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。

## 第九章 就職活動地域別の集計

# 第九章 就職活動地域別の集計

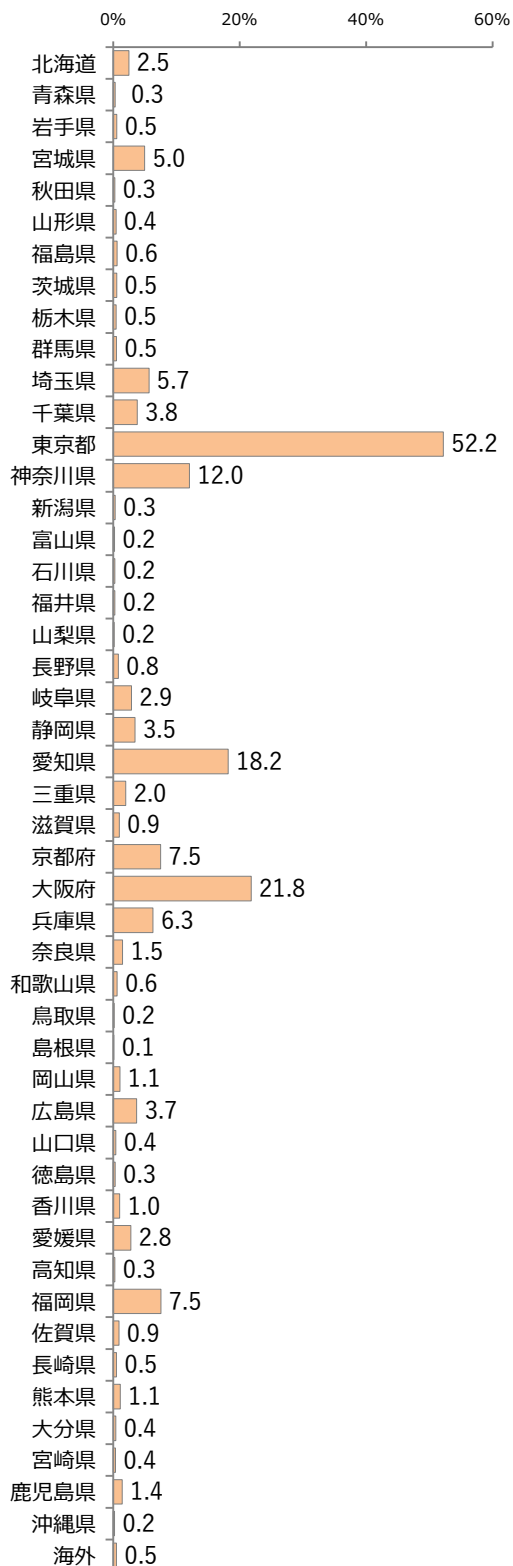
## (1) 就職活動地域と就職活動の内容

### ①就職活動地域に関する回答状況

就職活動を行った地域(都道府県)について集計すると※1、大学4年生・大学院2年生ともに、「東京都」の割合が最も高く、次いで、大学4年生では「大阪府」が、大学院2年生では「愛知県」の順で高くなっている。

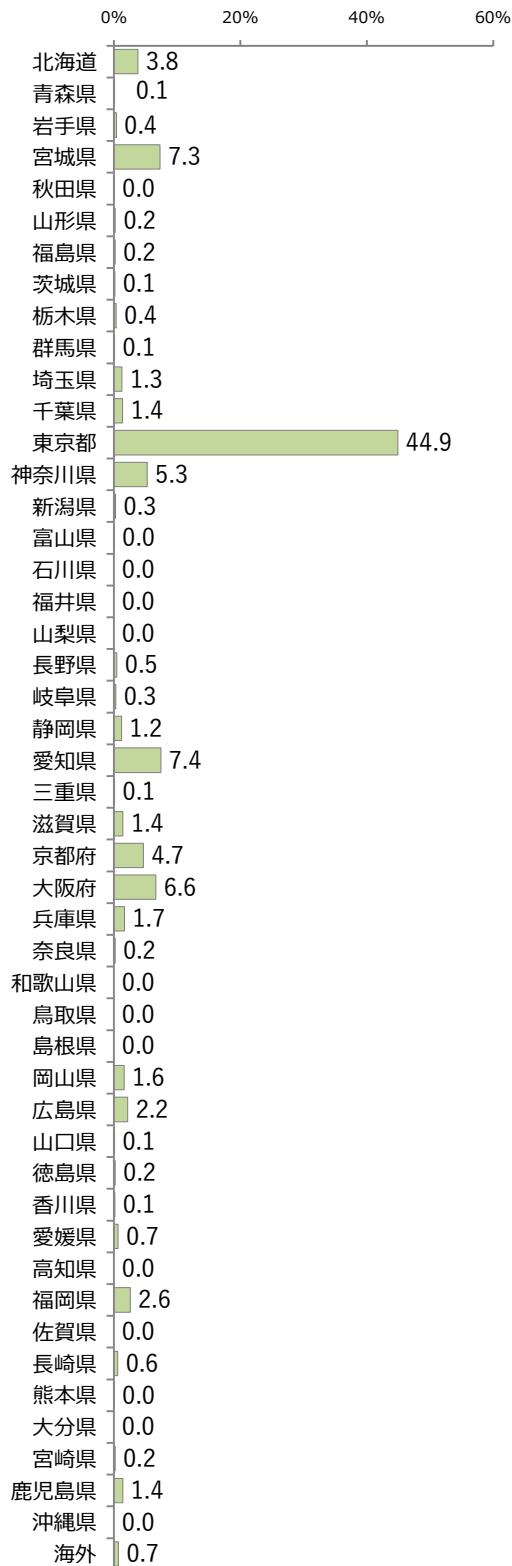
#### 大学4年生

(n=4,033)



#### 大学院2年生

(n=1,406)



※1: 主な地域について3地域まで回答されたものを集計したものである。

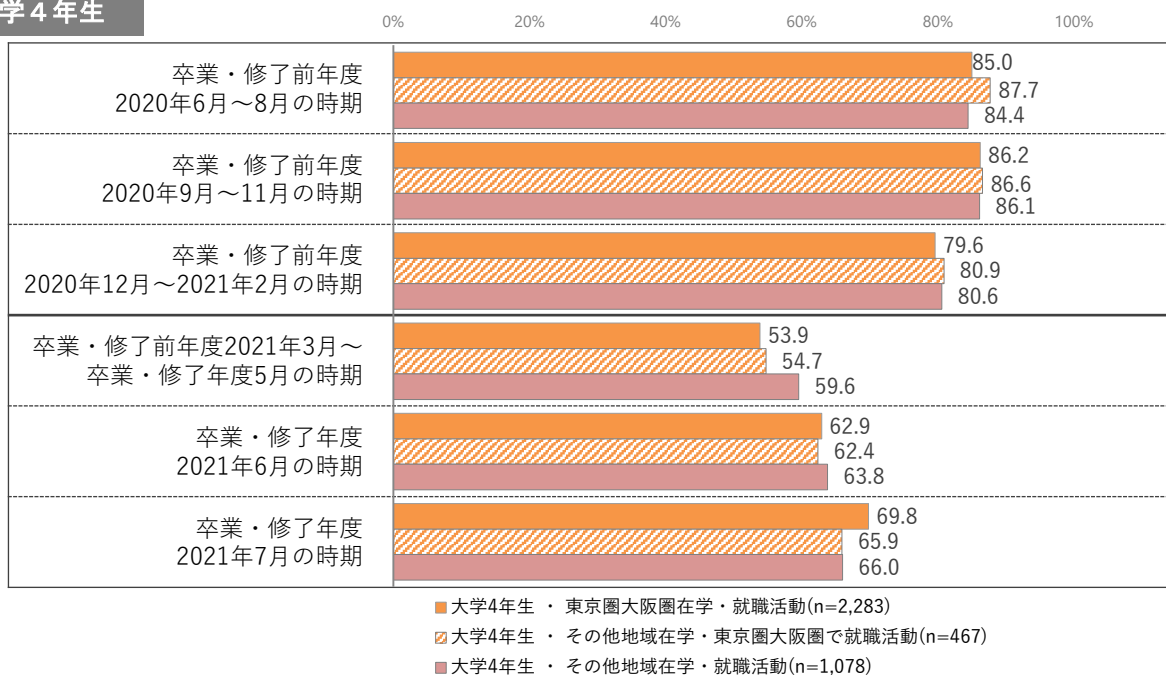


## ②就職活動地域の就職活動と学修時間確保の状況

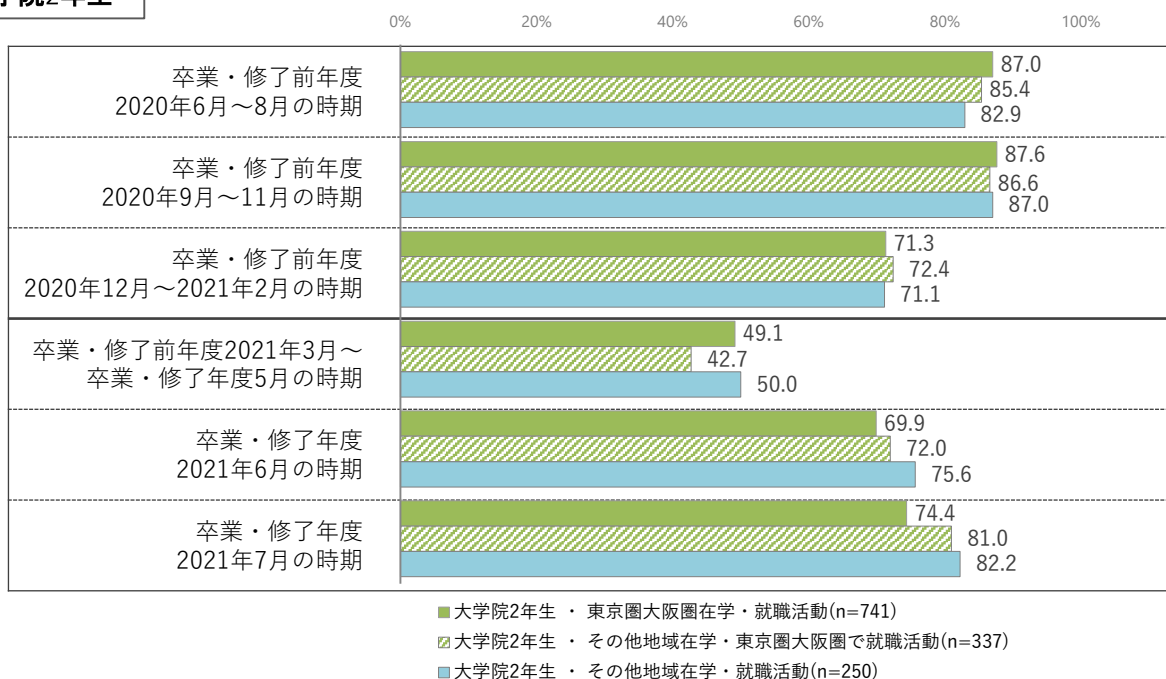
就職活動地域に関する回答状況と、大学所在地との関係をふまえ、「東京圏大阪圏在学・東京圏大阪圏で就職活動」の者と、「その他地域在学・東京圏大阪圏で就職活動」の者、「その他地域在学・その他地域で就職活動」の者の3つに分類して、それぞれの就職活動の状況等について集計した※1。

就職活動と学修時間確保の状況について、「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」、「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合を集計すると、大学4年生では、広報活動開始後の3月から採用選考活動開始後の5月の時期は「東京圏大阪圏在学・就職活動」者において「学修時間を確保できた」の回答割合が低くなっているが、大学院2年生では採用選考活動開始後の6月以降の時期において、その割合が比較的低くなっている。

### 大学4年生



### 大学院2年生



※1: 「東京都」「埼玉県」「千葉県」「神奈川県」を「東京圏」、「大阪府」「京都府」「兵庫県」「奈良県」を「大阪圏」とした。就職活動地域については、3地域まで回答したなかで、「東京都」「埼玉県」「千葉県」「神奈川県」「大阪府」「京都府」「兵庫県」「奈良県」のいずれかが含まれる場合は「東京圏大阪圏」に分類される。「東京圏大阪圏在学・その他地域で就職活動」の者も一部見られたが、該当する者の件数が少なかったことから、ここでは集計の対象外とした。

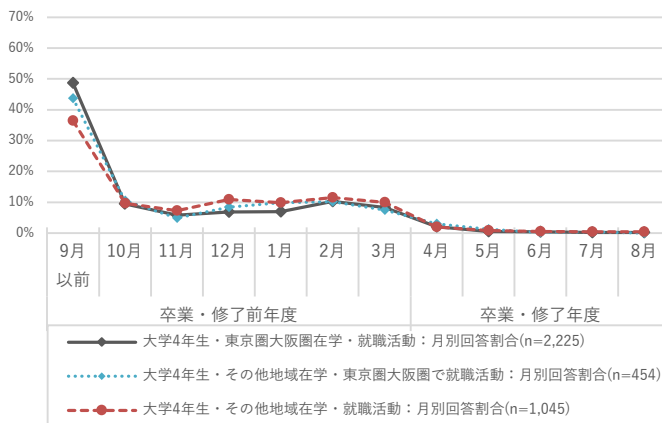
### ③就職活動地域別の業界や企業に関する分析を開始した時期

就職活動地域別に、業界や企業に関する分析を開始した時期を集計すると※1、大学4年生では「東京圏大阪圏在学・就職活動者」者でより早い時期を回答した者の割合が比較的高くなっている。

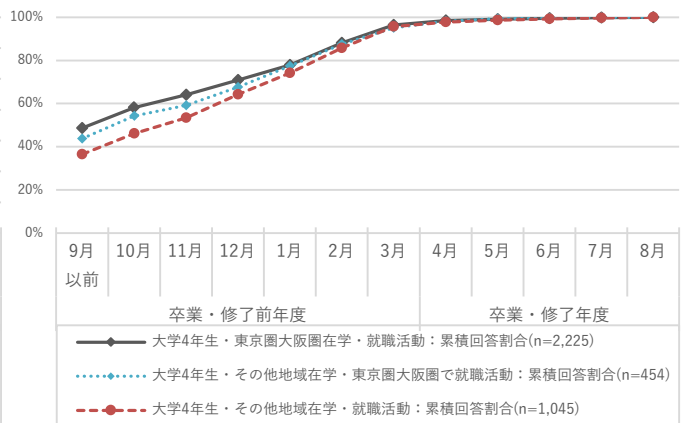
大学院2年生では、就職活動地域別に違いは見られず、概ね同様の傾向。

#### 大学4年生

##### 月別回答割合

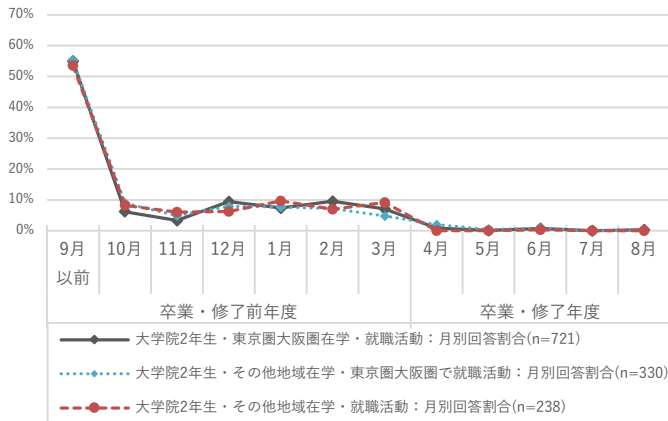


##### 累計割合

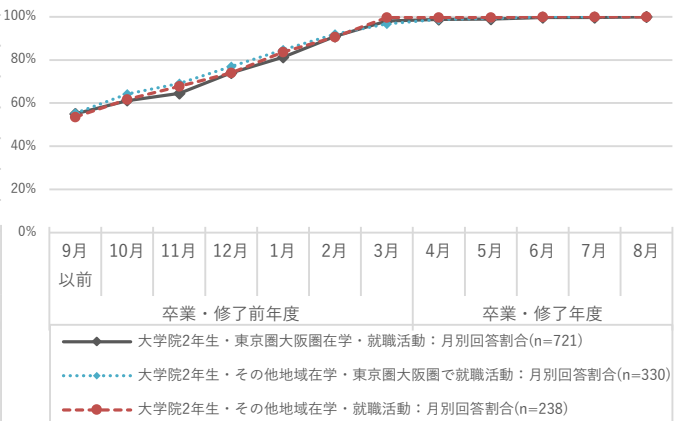


#### 大学院2年生

##### 月別回答割合



##### 累計割合



※1：業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。